

令和7年度 第2回八戸市図書館協議会

日 時：令和8年2月13日（金）13：30～

場 所：八戸市立図書館 2階集会室

次 第

1 開会

2 報告事項

- (1) 八戸市図書館における定期的な休館日の導入について
- (2) 先進地視察の報告について

3 議事

- ・令和8年度八戸市図書館事業計画（案）について

4 その他

5 閉会

八戸市図書館における定期的な休館日の導入について

1. 実施目的

定期的な休館日を導入することで、職員の業務時間を確保し、利用者ニーズに合った新たな企画をするほか、十分な書架整理により利用者の検索効率及び利用環境の向上を図るなど、利用者サービスの向上につなげる。

2. アンケートの結果報告

(1) 実施期間

令和7年7月9日(水)～9月30日(火) (84日間)

(2) アンケート結果

別紙「指定休館日に関するアンケート実施結果」のとおり

3. 定期的な休館日の導入（案）

(1) 曜日及び時間延長

施設名	休館日	開館時間の変更
八戸市立図書館（本館）	水曜日	土曜日の閉館時間を 17時から19時に変更
南郷図書館	木曜日	変更なし
図書情報センター		

※祝日の振替休館日は廃止、月末休館日は継続。

(2) 導入時期

令和8年9月（予定）

4. 今後のスケジュール（案）

時期	内容
令和8年 5月	八戸市図書館条例施行規則を改正
7月	総務協議会において報告
	小学校及び中学校長会において報告 (総務協議会后、7月又は8月)
8月	館内掲示、図書館HP等による周知開始
	市長記者会見
	広報はちのへ9月号(8月20日発行)
9月1日	本実施

指定休館日に関するアンケート実施結果

1. 実施目的

八戸市図書館における指定休館日（定期的な休館日）の導入に向けて、試行期間中にアンケートを実施することにより、指定休館日や図書館サービスについての市民の要望を把握し、アンケート結果の分析を踏まえて本格導入に向けて手続きを進めるため。

2. 実施期間 令和7年7月9日(水)～9月30日(火) (84日間)

3. 対象 八戸市在住の方

4. 実施方法 館内アンケート、WEBアンケート、市政モニター

5. 回答数 445件(内訳：館内回答294件、WEB回答58件、市政モニター93件)

6. アンケート結果の概要

(1) 図書館の利用状況

- ・回答者の77.3%が本館を最も利用していた。利用頻度は、7割以上の人が月に1回以上利用していた。

(2) 指定休館日について

- ・試行のとおり、「本館は火曜日」「分館は月曜日のままでいい」がそれぞれ8割以上を占めた。別の曜日として具体的な曜日を挙げた中では、「本館は月曜日または水曜日」「分館は火曜日または水曜日」がよいが多かった。
- ・本館については、はっちや美術館など他の施設と重ならないよう、「火曜日以外がよい」という意見が多かった。
- ・本館・分館ともに、休館日は同じほうが分かりやすいという意見も多かった。

(3) 指定休館日が増えた影響について（複数回答あり・496件）

- ・「特に影響はない」が303件と最も多かった。「普段利用する館を利用する機会が減った」が79件あった一方で、「普段利用する以外の館を利用する機会が増えた」は21件であった。
- ・「その他」32件の中では、「家や学校以外の居場所がなくなる」という意見が多かった。

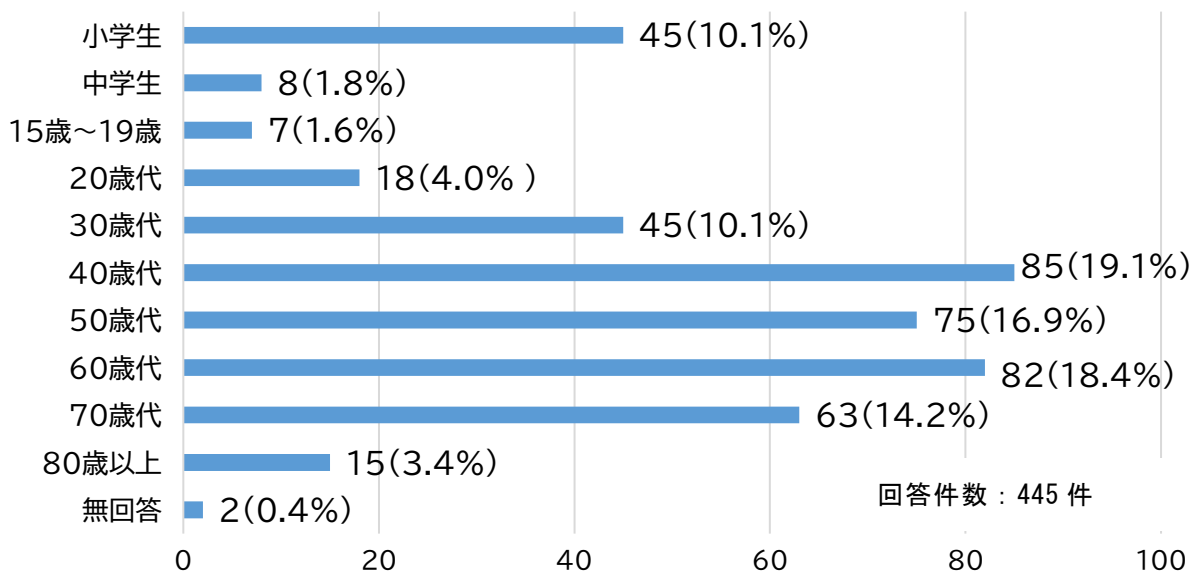
(4) 図書館サービスとして期待すること（複数回答あり・656件）

・「もっと朝早くから開館してほしい」が69件、「もっと夜遅くまで開館してほしい」が115件で、開館時間の延長を望む意見が約28%で最も多かった。

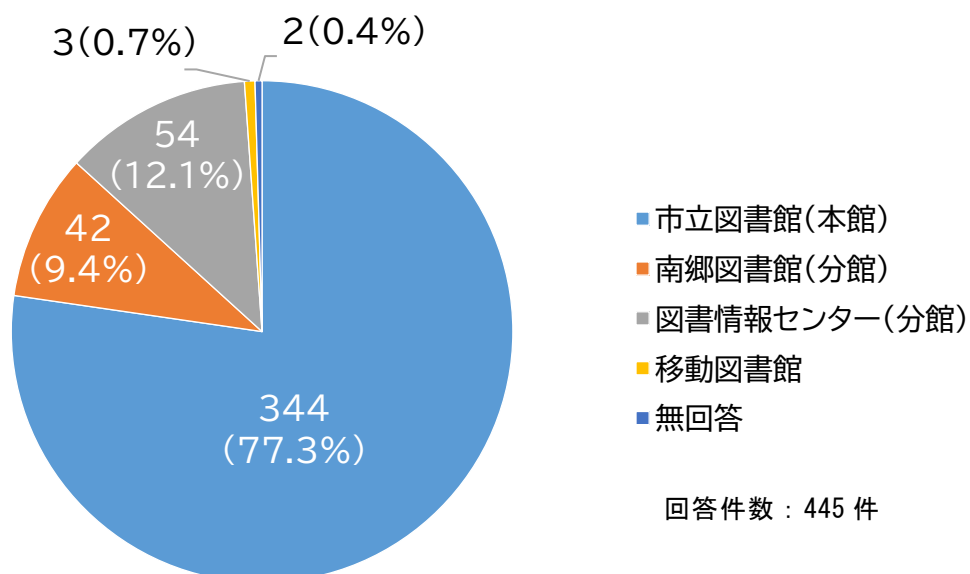
・「その他」としては、蔵書の充実、貸出・返却サービスや図書館システムの向上、施設設備の改善など、現在のサービスの向上についての要望や、カフェスペースの設置の要望のほか、図書館のPR不足を指摘する意見があった。

7. 各設問の集計結果

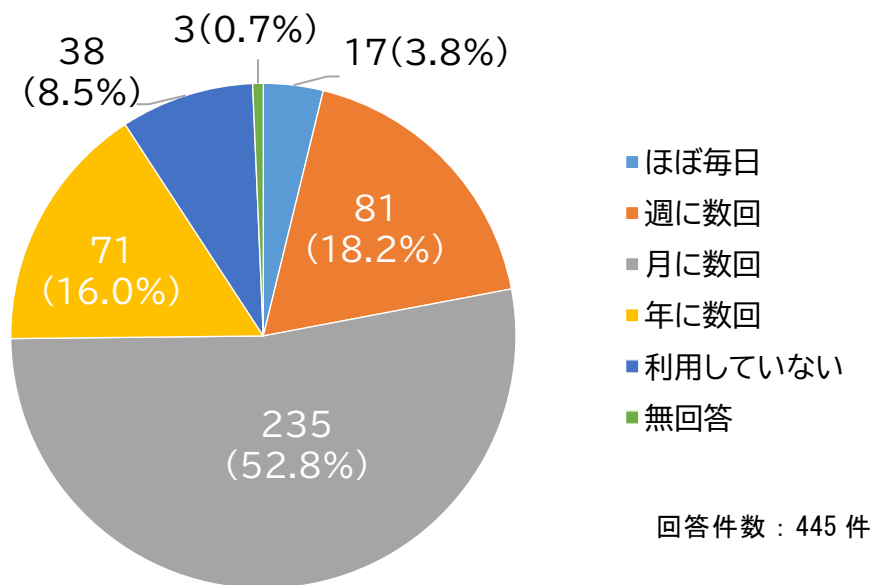
問1 あなたの年齢を教えてください。



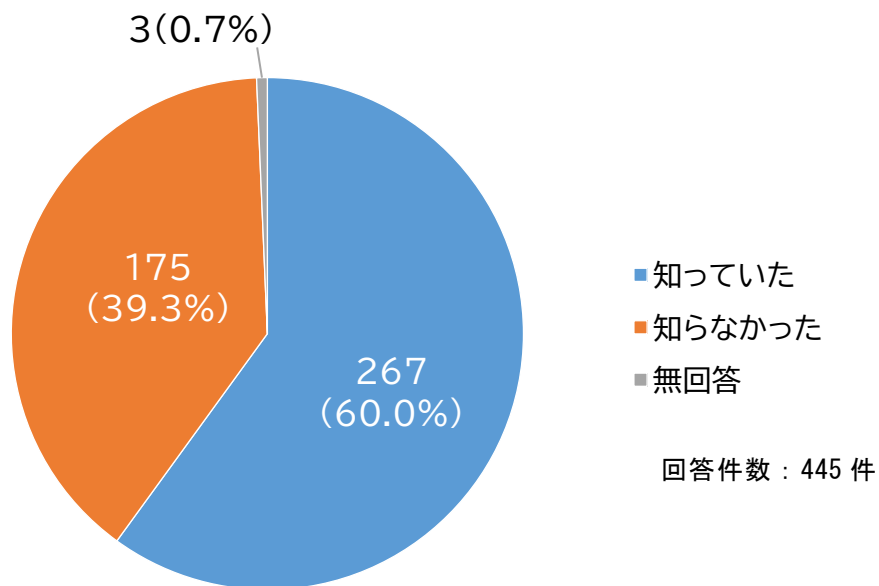
問2 普段、最も利用する図書館はどちらですか。



問3 図書館をどれくらい利用されていますか。

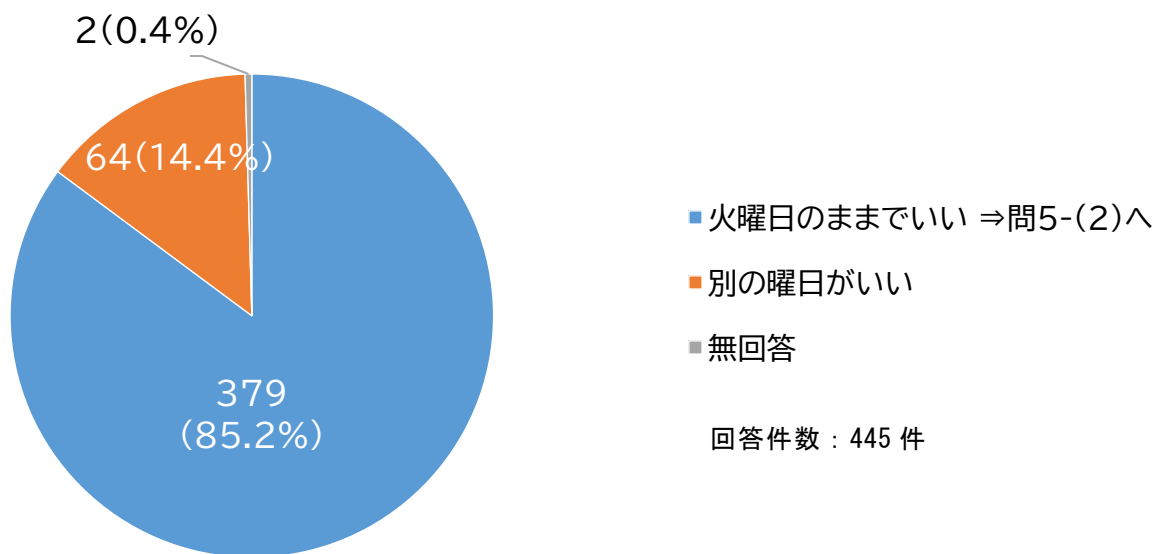


問4 これまで図書館には毎週の休館日がなかったことを知っていますか。



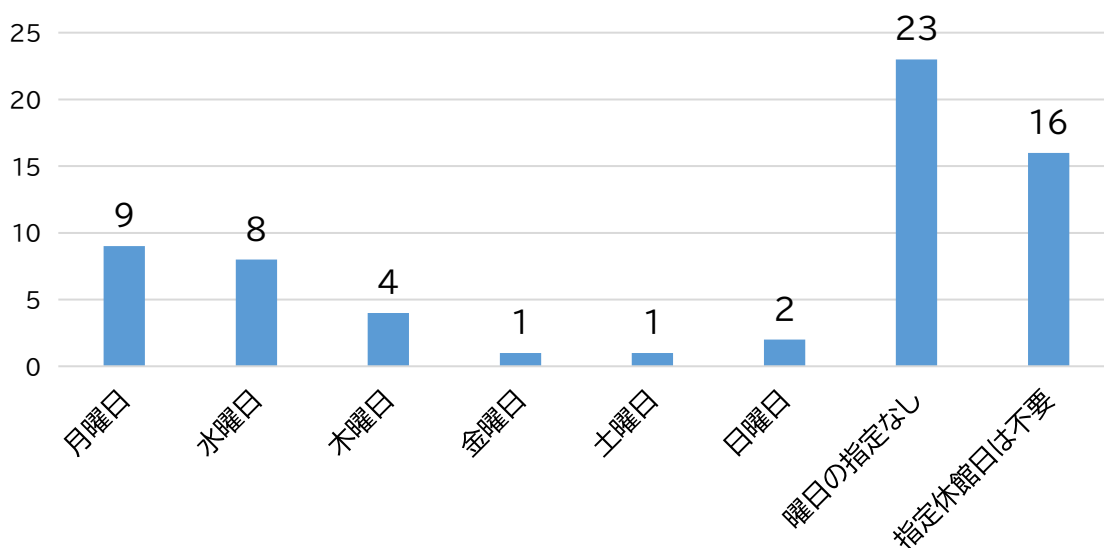
問5 現在実施中の指定休館日の曜日について、どのように思いますか。

(1) 本館（火曜日）について



※ 問5-(1)で「別の曜日がいい」と回答した方へ、本館の指定休館日によいと思う曜日と、その理由を教えてください。

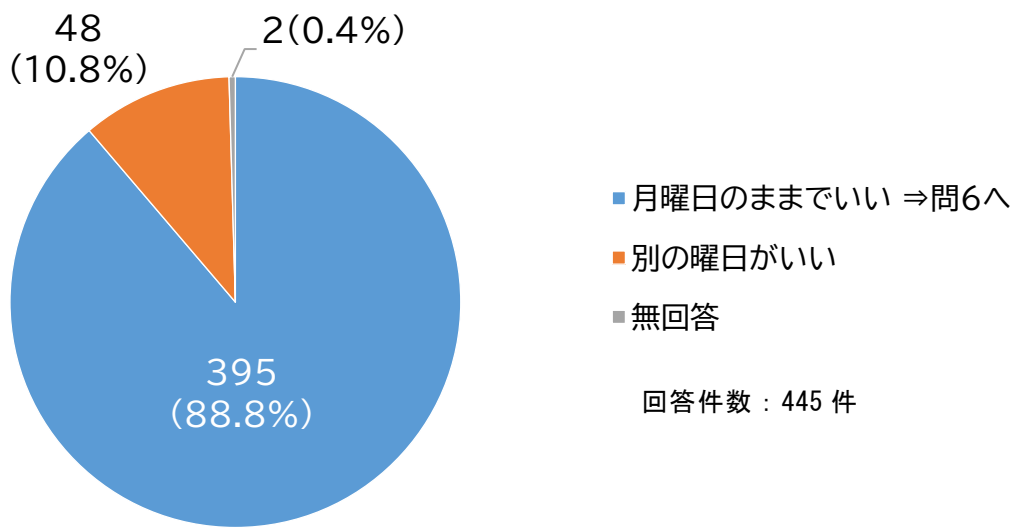
「別の曜日がいい」64件の内訳



自由記述の主な内容

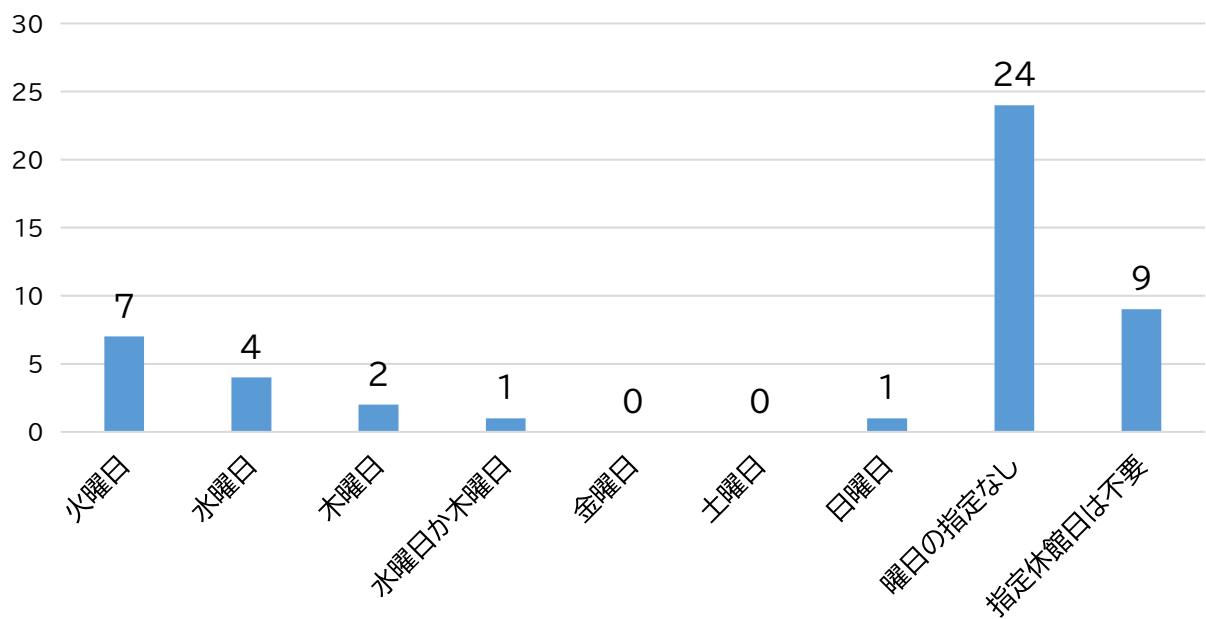
- ・ 3館一緒の方が分かりやすい
- ・ はっちや美術館など他の市の施設と重ならない方がいい
- ・ 火曜日にしか来られない方のために、時々、曜日をずらしてしてもよいのではないか。
- ・ どの曜日にも困る、指定休館日はなくてよい。

(2) 分館（月曜日）について ※分館…南郷図書館・図書情報センター



※ 問5-(2)で「別の曜日がいい」と回答した方へ、分館の指定休館日によいと思う曜日と、その理由を教えてください。

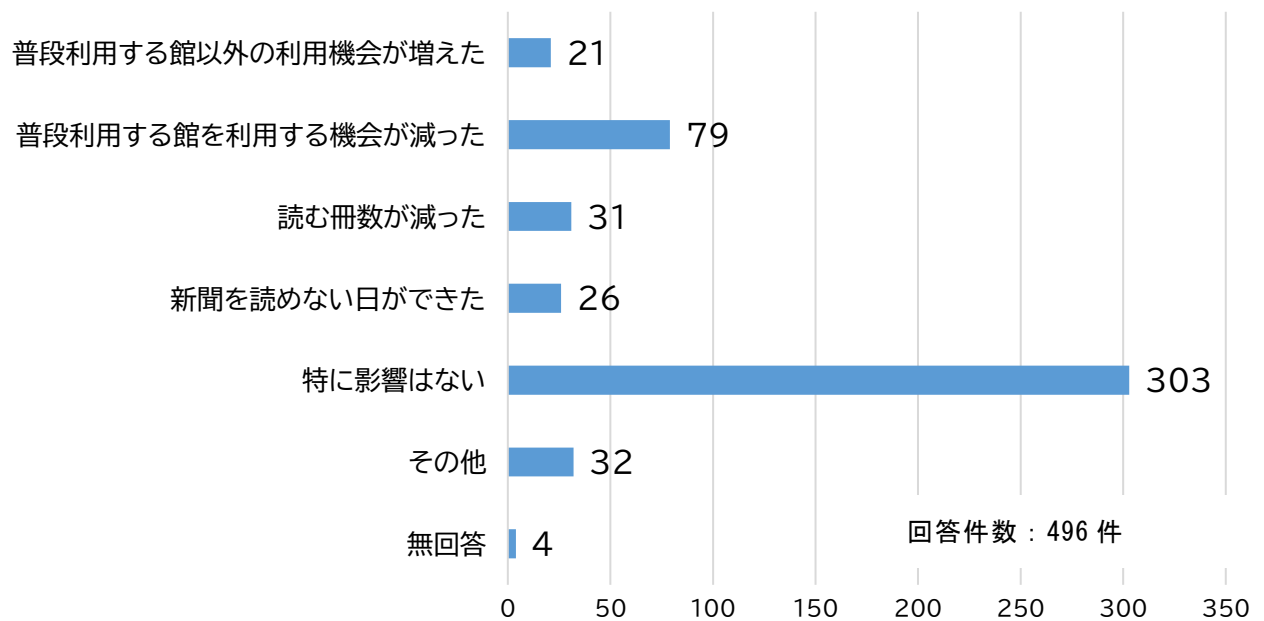
「別の曜日がいい」48件の内訳



自由記述の主な内容

- ・本館と分館は別の休みが良いと思う／本館と同じほうが良い
- ・はっち、YSアリーナなどと別の日。重なると、行く所がなくなるため。
- ・月曜日は仕事や学校が休みの事が多いので、休館日は違う曜日がよい
- ・分館は利用しない
- ・指定休館日はなくてよい

問6 指定休館日が増えた影響についてお答えください。(複数回答可)

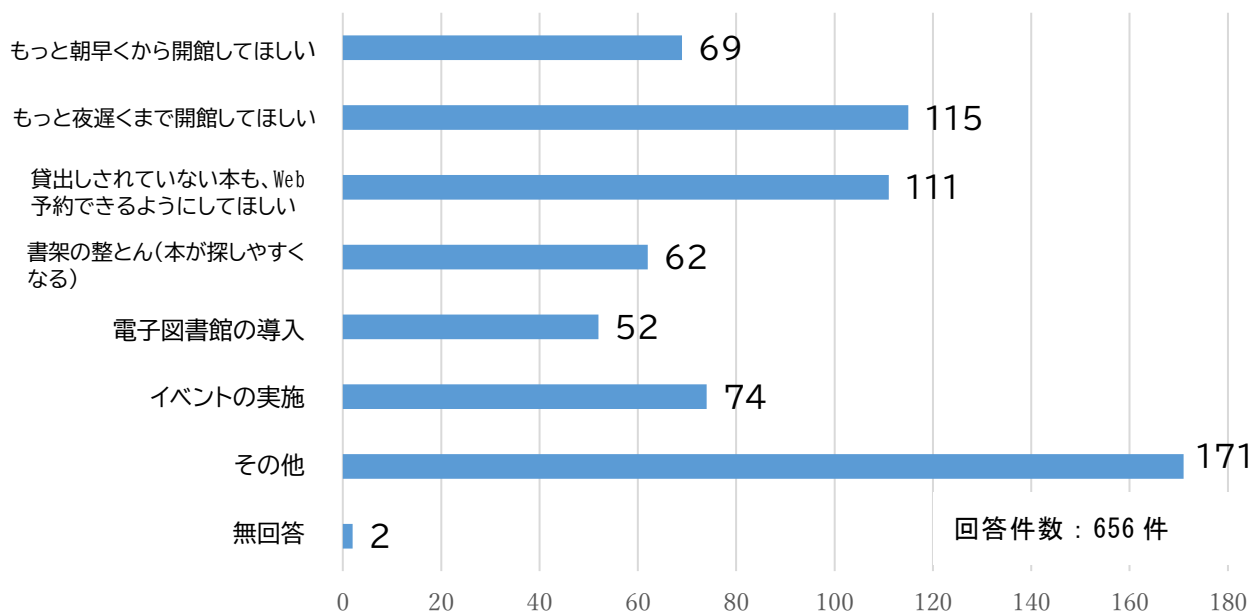


※ 問6で「その他」と回答した方へ、具体的な内容を教えてください。

主な内容

- ・勉強場所、涼みどころなどに利用できない
- ・家や学校以外の居場所がなくなる
- ・休館日が多すぎる
- ・休館日と知らなかった

問7 図書館サービスとして期待することは何ですか。(複数回答可)



※ 問7で「その他」と回答した方へ、具体的な内容を教えてください。

主な内容

- ・ 指定休館日はやめてほしい
- ・ 指定休館日を導入しても、2階の学習スペースは開けて欲しい
- ・ 土日祝日の開館時間の延長
- ・ 視聴覚メディアを他の館でも貸出・返却できるようにしてほしい
- ・ 返却場所を増やしてほしい
- ・ CDもWEB予約できるようにしてほしい
- ・ 蔵書・CDを増やしてほしい
- ・ マンガ本も置いてほしい
- ・ 図書館のホームページが非常に使いにくい
- ・ ネットで郷土資料の検索が出来ればいい
- ・ 本好きの子ども以外でも来やすいようなイベントが増えるとよい
- ・ エレベーターやスロープの設置、トイレのリフォームと衛生上の向上、使用可能なコインロッカーの設置
- ・ 駐車場の台数が少ない
- ・ レファレンスの充実。調べたい項目・内容についてインターネットで照会し、その結果の回答をもらえるような仕組みづくり
- ・ 読書通帳の導入を検討してほしい
- ・ カフェがあったらいい。BGMがあってもいい。
- ・ 子供エリアがあると嬉しい
- ・ 自動貸出機があるとよい
- ・ 図書館の基本情報(場所・時間・駐車場等)の周知が足りない

アンケート記述式回答の詳細 (主なもの)

問 5-(1) 本館の指定休館日について (55 件)

○月曜日がいい

- ・火曜日通院が多くそのときに利用することが多いため
- ・3館一緒の方が分かりやすいから
- ・統一された方が分かりやすい
- ・図書館は全て同じ曜日が休みだと覚えやすい
- ・火曜日が来やすかったのだ
- ・南郷や八戸駅と合わせてほしい
- ・週の初めだから

○水曜日がいい

- ・月曜日はYSアリーナが、火曜日ははっちが休みのため、勉強したりゆっくりにできる施設がない
- ・水曜日他の公共施設(はっち、美術館など)と一緒にない方がよい
- ・他の用事とのかね合いで
- ・美術館、はっち、体育館 行く所がない
- ・病院が午後休みなので来やすくなる
- ・仕事で休暇の人が少ないため
- ・火曜日に公民館に来るので、返すのに便利なため

○木曜日がいい

- ・はっち、YSアリーナなどの休館日と重なると、行く所がなくなるため
- ・自営の休みが月・火、今までもずっと月曜日休館が多く、連休だと困るから
- ・火曜はこどもはっちの休館日でこどもと一緒に行く所がない

○金曜日がいい

- ・金曜日にここ来ないから

○日曜日がいい

- ・働いている人も休んだ方がよい

○火曜日以外がいい

- ・はっちや美術館など他の市の施設と休日を揃えられると、勉強などのために机を使いたい時に場所がなくなる
- ・他の施設の休館日と重なるため
- ・火曜日以外ならどの曜日でもいい。火曜日が利用しやすい日だから
- ・時々ある、休館日は月曜日が多かったため
- ・公共施設の休みが被っているため
- ・ブックセンターが休みの日とずらしてほしい
- ・はっちもブックセンターも美術館も火曜日なのはなぜでしょうか、逆に理由が知りたい。合わせる必要がないと思います。施設ごとにバラバラではダメなのではないでしょうか？
- ・はっちとかぶるから

○曜日指定なし

- ・火曜日にしか来られない方のために、時々、曜日をずらしてもよいのでは
- ・隔週にしてほしい
- ・定休日にされると日や火が仕事休日の人が困るので、第1・2が火、第3・4が木などバラけて欲しい
- ・ランダム(仕事が火曜休みだから)

問 5-(2) 分館の指定休館日について (40 件)

○火曜日がいい

- ・本館と同じほうが良い
- ・本館と一緒に一気に借りたいから
- ・月曜が休みを取りやすく、その日によく利用しているため
- ・仕事で休暇の人が少ないため

○水曜日がいい

- ・月曜日は県立図書館のオンライン貸出図書を受け取りに行くのできてほしい
- ・月曜休みの職が多い
- ・月曜日休みの施設が多いため、ずらして欲しい
- ・他の用事とのかね合いで

○木曜日がいい

- ・月曜日は子どもの振休が多く利用したい時がある
- ・はっち、YS アリーナなどの休館日と重なると、行く所がなくなるため

○水曜日か木曜日

- ・病院と同じ。だが本館とかぶっていないからまだ良い

○日曜日がいい

- ・働いている人も休んだ方がよい

○月曜日以外がいい

- ・月曜日は学校の代休になることがあり、その日に利用したいと思っても利用できないため
- ・月曜日は仕事が休みの方もけっこういらっしゃるのでは？
- ・私が月曜休みなので
- ・月曜が祝日の場合火曜が休みになって、本館と休みが被るから。

○曜日指定なし

- ・ひま！
- ・本館と別館は別の休みが良いと思う
- ・分館は利用しないため、どちらでも良い
- ・利用しないのでわからない
- ・ランダム (利用していない)

問 6 指定休館日が増えた影響について (29 件)

- ・自分の休みと休館が重なる事が増えて利用しにくくなった
- ・家以外の居場所がなくなる
- ・月曜日に県立図書館のオンライン貸出図書の受け取りができなくなった
- ・はっちや美術館など他の市の施設と休日を揃えられると、勉強などのために机を使いたい時に場所がなくなる
- ・図書館を使った勉強ができない日があった
- ・他の施設も同じく休みのため、涼みどころとして活用できなくなった
- ・むしろ、今まで定期休館日がなかったのが不思議
- ・学校でいじめられる子供の逃げ場所がなくなった
- ・火曜日でも暑い日はある
- ・休館日が多すぎる
- ・利用する機会がない
- ・知らないで行くと休館ということがあった
- ・子どもが高校生で、テスト週間に利用できない日があるのは少々不便
- ・働く人にとっては休みが多い方がいいだろうけど利用者にとれば不便だ
- ・不便
- ・図書館の利用目的が単に本を借りるだけではない人も多い。情報収集、新聞

閲覧、休憩、涼みどころとして利用など

- ・ 田舎なので終日気軽に過ごす場所が他にないことと、これまで指定休館日がなくてもコロナや冷房工事、10月に長い休館がある等、利用制限が多々あるので指定休館日を設けることに快く思わない
- ・ 行ったら閉まっているというロスがなくなり便利
- ・ 行き辛くなった
- ・ 利用したい時に利用できなくなる
- ・ 集会室を利用できる日が少なくなった
- ・ 休館で利用できなくなった
- ・ 休館日を知らずに来館したことが何回かあった。慣れればいいのか？
- ・ 夏の暑い時期は開館した方がよかったのでは？涼みどころとして
- ・ 2番目に利用している館の利用機会が減った
- ・ 利用日が休みかどうか気にしないといけなくなった
- ・ 本を返す日が短くなった

問7 図書館サービスとして期待すること（回答件数：182件）

○休館日について

- ・ 指定休館日を導入しても、2階の学習スペースは開けて欲しい

○開館時間について

- ・ 土・日遅くまでやってほしい。土曜日だけでもいいので。
- ・ 土、日、祝日の開館時間の延長（平日と同じに）
- ・ 夏季は朝早く、土日祝は夜遅くまで開館してほしい
- ・ 職員さんの負担が増えるのは心苦しいので、開館時間は今のままで良い
- ・ 本館も午後8時まで開館希望
- ・ 土日祭の閉店時間を30分でも延長してほしい
- ・ 開店時間は今のままだ大丈夫です。いつもありがとうございます。
- ・ 午前8時30分から開館してほしい
- ・ そんなに長く開館しなくても良いのではないかと思う

○貸出・返却サービスについて

- ・ DVDなどの視聴覚メディアを他の館でも貸出・返却できるようにしてほしい
- ・ 本と同様に、南郷のDVDを図書情報センターでも借りられたら嬉しい
- ・ 他市町村図書館との広域連携を目指して、他の図書館から借りた書籍が返却できるようになると良い。（借りる時は、その市町村の図書館まで出向く。）
- ・ 本館でもDVDの貸し出しをしてほしい
- ・ 返す場所を増やしてほしい
- ・ 予約の入っている人気本の貸出期間の短縮。たとえば2週間→1週間
- ・ 休館日に、予約している本の受け取りだけでも出来るととても助かります。
- ・ 現在貸出中の本の延長をWebでできるようにしてほしい
- ・ コロナや体調不良で返却が遅くなったので、いちいち期限過ぎてますので…と言わないでほしい。悪いのは十分わかってる…
- ・ 新刊本は人気で貸出中でした。予約待ちの人が多き時は冊数を増やせませんか？
- ・ 私は、はっちのガイドしていますが、はっち内に返本できることが出来て嬉しいとお客様の声がありました
- ・ 他の図書館の蔵書も、相互貸借で借りることが出来ることをもっと市民に周知してください
- ・ 分館にない本を本館から分館へ回して下さるサービスはあるのでしょうか？よくわかってなくてすみませんが、あると便利だと思って。本館まで出向くのが大変だと思うので。

- ・高齢になると貸出期間が短いと、図書館へ出かけるのが大変です。貸出期間をもう少し長くしてもらえるといいなあとも思っています
- ・CD も WEB 予約できるようにしてほしい
- ・予約できた本をはっちで受け取れるようにしてほしい
- ・返却日前日までに本を返すようにしているので貸出日数を1日延ばしてほしい。
- ・返却を、ラピアにも設置してほしい

○蔵書関係について

- ・本の充実
- ・介護保険は、定期的に更新されるため、最新版を借りられたらありがたい
- ・新しい絵本をどんどん入れてほしい
- ・本の紹介をしてほしい。手に取って読みたくなるように
- ・湊かなえの「告白」大活字本、何でⅠがなくてⅡ、Ⅲがあるの？Ⅰがないと意味ないじゃないか。仕入担当者、教えて下さい！
- ・歴史全般、自然科学等のDVD、ビデオテープの種類の増巻
- ・「本のまち」をうたっているにも関わらず話題の本すらない。特にビジネス経済系の本が圧倒的に少ないので増書してほしい
- ・CDの数を増やしてほしい
- ・ビジネス、経済関係の雑誌を増やしてほしい。電子図書館の導入に期待。
- ・漫画コーナーがあったら嬉しいです
- ・趣味の本（特にハンドメイド関連）を増やしてほしいです
- ・手芸やあみ物の本が古い。もう少し、今はやりの本をそろえてほしい。
- ・新しい本のリクエストをできるようにしてほしい
- ・新しい本を増やしてほしい
- ・いつまでも古い本が多く、利用者の扱いが雑なのが目立つ
- ・リクエストがなくても、新しい本をもっとたくさん出してほしい
- ・エッセイ本や小説を増やしてほしい
- ・希望の本をアンケートとかとったりして、図書館にないものもとってほしい
- ・マンガ本も置いてほしい

○図書館システム・HP等について

- ・Webでパスワードを保存できるようにしてほしい
- ・検索機能が弱い
- ・図書館のホームページが非常に使いにくい
- ・利用者ログインの画面で、番号は数字しか入力できないようにしてほしい。また、ログイン情報を記憶して、毎回パスワードの入力だけで済むようにしてほしい。
- ・カテゴリ・ジャンルごとの検索機能の追加。それにより、その日の気分で読みたい本を探せるので、ふらっと立ち寄りやすい。
- ・貸出中の書籍を電子図書館で読めるようにしてほしい
- ・Webで郷土資料の検索が出来ればいい
- ・Webで江戸時代の八戸城下地図を見たい

○イベントについて

- ・ぬいぐるみのお泊り会を増やしてほしい
- ・イベントを増やしてほしい
- ・作物の有機栽培に関する講演会を開催してほしい
- ・これ以上イベントを増やさないでほしい
- ・「おはなし」が楽しかった
- ・朝活図書館を増やしてほしい。週に1回くらいだけでも。
- ・音楽をかけるのはとても良いのですが、ボリュームが少し大きいと思うので、もう少し控え目な方が読書や勉強には良い

- ・本好きの子ども以外でも来やすいようなイベントが増えると、ママ友にも図書館を薦めやすい。若いお母さんは特に本を読まない人が増えているので。
- ・本のリサイクルは、本館の裏の秋季開催を希望する
- ・映画上映は月2回位にしてほしい
- ・絵本講習会

○施設設備について

- ・エアコン直撃する席は寒くてつらい
- ・2階のロッカーをよく使用するのですが、現時点で半分ほど使用できない上に、鍵が故障しやすいなど利用するのに支障があります。改善を希望します。
- ・外のボイラー室？の裏のところは、段差があり、非常に危険だと思います。特に夜は照明も暗いため、足を引っかけてしまうこともあります。
- ・1階・2階にある障がい者用トイレの改修予定はないのでしょうか？今時、ああいうトイレはないかと。
- ・車イス駐車場2台分もいらぬのでは。2台停まっているのを見たことがない。もっと入口近くのスペースに停められるようにしたらよいのでは
- ・駐車場入り口の段差が大きく、車体の底をこすりそうです
- ・駐車場の車止めの設置
- ・駐車場の台数が少ない
- ・建物をもっと大きくきれいに新しくしてほしい
- ・本館のトイレが狭く汚い
- ・長期の休みに合わせてトイレの改修を行ってほしい
- ・エレベーターやスロープの設置、トイレのリフォームと衛生上の向上、使用可能なコインロッカーの設置

○その他の図書館サービスについて

- ・テーマごとのおすすめ本は、いつも好きです♪
- ・レファレンスの充実。調べたい項目・内容についてインターネットで照会し、その結果の回答をもらえるような仕組みづくり
- ・入口すぐの特集展示のような企画をいつも楽しみにしているので、継続できれば増やしていただけるととても嬉しいです
- ・2Fに高級スピーカー（アメリカ・マッキントッシュ製、1986年発売時180万円）があるので活用してほしい
- ・読書通帳を導入してほしい
- ・カフェがあったらいい。BGMがあってもいい。（静かで読書を心地良くする音楽）
- ・学習スペースが欲しい。またはもっと広くしてほしい。
- ・コーヒーを飲みながら本が読めたらうれしいです。
- ・一般「Fカ」にあると検索で出るが、館内案内地図にFカがどの辺りにあるのか書かれていないため探しづらいです。書籍分類での表記にしてほしい。
- ・館内の清潔感
- ・新聞を読むスペースを広くしてほしい
- ・1階しか利用しませんが、その他の場所がどうなっていて本を借りる以外にこんな事もできる等の情報をもっと発信して身近に感じたい
- ・本のニオイが気になりましたが、消臭処理等はやれませんか？
- ・私の娘が仕事を辞め（主婦）時間が出来たので、図書館通いを始めたいのですが、読めるコーナー（場所）が少なすぎると話していました
- ・子供エリアがあると嬉しい。洋野町の図書館のように、子供たちが多少、声を出して本を読んでもよいように、エリアが区切っていると、大人も子供も気持ちよく利用できると思う。
- ・PCを持ち込んで利用することができるのでしょうか？できるなら、HPなどに記載されているのでしょうか。
- ・南郷図書館のように本棚のエンドに座るところがあると良いと思います。わざ

わざ人が座っている所まで行かなくても、ちょっと座れる所があるといいです。また、窓の方を向いて座る席があるといいです。

- ・古本のプレゼント
- ・クラシックコンサートやおすすめの本ランキング
- ・人気の本ランキング掲示板
- ・本の場所をもっとわかりやすくしたほうがよい
- ・本館のPC席を増やしてほしい
- ・お菓子の残りとその人の貸出の用紙が入ったまま。ちゃんと確認しているのでしょうか？
- ・子どもと一緒に利用しに来ましたが雑誌を読む時は、一緒にいることができない!! 一緒に本を読むことができるように改善をしてほしいと思いました。
- ・中心街にあるブックセンターとの連携（しているのかもしれないがあまり伝わってこない）
- ・市立書店、民間書店、市内古書店とのタイアップ企画
- ・図書情報センターの新聞(大手紙)を本館並みに開架していただきたい
- ・幼児も本に触れ合えるようなスペースを作って欲しい。キッズスペースのような囲いがあり、多少会話したり読み聞かせたりしても他の利用者の邪魔にならない端の辺りに。
- ・椅子をもう少しほしい
- ・ボランティアを募集してほしい。本の整頓でも何でも。
- ・本館の雑誌貸出手続き面倒だ（日経BP等）
- ・閉架書庫の出入り自由化
- ・もっと読書スペースを広くしてほしい。窓辺の椅子は、ひとつおきにしか座れない（他人同士は）。でも、親子や友人は隣同士に座るので、椅子の配置は変えないでほしい。
- ・DVDの視聴を！青森アウガはすばらしい
- ・十和田図書館のように、自動貸出機があるとよいです
- ・かばん置きがほしい。カフェとかにあるようなもの。
- ・ケータイの充電がしたい（有料でも）

○その他 感想など

- ・現在のままでも良いと思います
- ・1人1回を守ることができない人もいます
- ・満足しています。いつもありがとうございます。
- ・読む本は購入する方なのですが、そんな私でも行ってみたいと思える図書館になって欲しい
- ・八戸市民になって5年経ちますが、図書館の基本情報（場所・時間・駐車場等）の周知が足りないと思います。機会があれば利用したいと思います。
- ・平成10年代に初めて行きました。どれ程の本があるかゆっくり見て歩いていましたが、だんだん頭痛がしてきて、館内の臭いが気になり、早々に帰りました。今では空調も良くなったと思いますが、そういう訳で図書館に行っていないです。
- ・学生時代はちょこちょこ使っていました
- ・そもそも図書館に行ったことがない。50代になって老眼で本離れました。
- ・私はおいらせ町に住んでいますが、仕事（自営）の関係でよく八戸に行きます。バスの待ち時間の時、図書館でいろいろ読めて助かっています。
- ・八戸図書館の新聞を読むところがいつもシニアの方がいて読みにくい
- ・図書館についての情報を普段から目に付くようにいろんな媒体を使ってほしい。広報ぐらいでしか目にしない。
- ・電子書籍を読むための操作説明会は土、日にしてほしいです
- ・一部の職員の方の私語が多いのが気になる。話をしていて、働いていないので

は？働いている人とそうではない人の差が大きい？

- 大変でしょうがいつまでも続けていただきたい
- 子供の頃より、図書館は宿題をしたり、楽しい場所でした。今でも、図書館は楽しみの一つです。
- 図書館の皆様はご苦労様です。いつもやさしく対応いただき感謝しています。このままでも良いと思います。
- いつも利用しています。気持ち良いサービスで基本的には満足です。
- ここは、学校でいじめられた人が毎日でも逃げ込める安全地帯じゃなかったんですか。がっかりしました
- 新聞読む人（特に高齢者）が指にツバをつけてページをめくっている。私は、両手の親指、人指し指用の指サック、4個を常に持ち歩いている。

指定休館日に関するアンケート

対象：八戸市在住の方 調査期間：令和7年7月9日(水)～9月30日(火)

日頃から八戸市図書館をご利用いただき、ありがとうございます。

当館では、新たなイベントの企画や、十分な書架整理時間の確保による検索効率及び利用環境の向上を図るため、祝日の振替日と月末の休館日に加えて、令和7年7月から、指定休館日（毎週決まった曜日の休館日）の試行を実施しております。

そこで、本格的な導入の際に参考にさせていただくため、アンケートを実施します。

この調査は無記名で、調査結果は統計的に処理します。お一人1回、ご回答ください。

以下の項目について、当てはまる番号に○をつけてください。

問 1 あなたの年齢を教えてください。

- | | | | |
|--------|----------|-----------|--------|
| 1 小学生 | 2 中学生 | 3 15歳～19歳 | 4 20歳代 |
| 5 30歳代 | 6 40歳代 | 7 50歳代 | 8 60歳代 |
| 9 70歳代 | 10 80歳以上 | | |

問 2 普段、最も利用する図書館はどちらですか。

- 1 八戸市立図書館（本館）
- 2 南郷図書館（分館）
- 3 図書情報センター（分館）
- 4 移動図書館

問 3 図書館をどれくらい利用されていますか。

- 1 ほぼ毎日
- 2 週に数回
- 3 月に数回
- 4 年に数回
- 5 利用していない

問 4 これまで図書館には毎週の休館日がなかったことを知っていますか。

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

問 5 現在実施中の指定休館日の曜日について、どのように思いますか。

(1) 本館（火曜日）について

- 1 火曜日のままでいい ⇒問 6 へ
- 2 別な曜日がいい（ ____曜日 理由： _____ ）

(2) 分館（月曜日）について ※分館…南郷図書館・図書情報センター

- 1 月曜日のままでいい ⇒問 6 へ
- 2 別な曜日がいい（ ____曜日 理由： _____ ）

問 6 指定休館日が増えた影響についてお答えください。（複数回答可）

- 1 普段利用する館以外の利用機会が増えた
- 2 普段利用する館を利用する機会が減った
- 3 読む冊数が減った
- 4 新聞を読めない日があった
- 5 特に影響はない
- 6 その他（ _____ ）

問 7 図書館サービスとして期待することは何ですか。（複数回答可）

- 1 もっと朝早くから開館してほしい
- 2 もっと夜遅くまで開館してほしい
- 3 貸出しされていない本も、Web 予約できるようにしてほしい
（現在、Web 予約できるのは貸出中の本のみ）
- 4 書架の整とん（本が探しやすくなる）
- 5 電子図書館の導入
- 6 イベントの実施
- 7 その他（ _____ ）

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
この用紙は、回収箱にお入れください。

八戸市立図書館

<令和 7 年度先進地視察の報告>

『あらゆる人々に開かれる』図書館について

1 視察先

富津市立図書館（千葉県富津市）

2 視察日時

令和 7 年 10 月 21 日（火） 14:00～16:00

3 視察目的

「図書館のない市」だった富津市に 2 年前にできた図書館。商業施設内にある図書館ならではの取組を調査し、今後の利用者取り込みの参考とする。

4 視察内容

- ・ 4 つの基本方針として、「誰も取り残さない・地域愛を醸成・つながる・居心地の良い 図書館」を掲げている。
- ・ 富津岬・富津公園をイメージした明るいエントランス。入ってすぐのところに、モニュメント的存在である「企画・展示台エリア」がある。
- ・ 商業施設の BGM が常に図書館内にも流れているため、にぎやかで雑談もしやすい“静かではない図書館”。
- ・ 開館当初から自動貸出機を完備。開館当時はスタッフが傍で使い方を教えていたが、今ではほとんどの利用者が自動貸出機を利用している
- ・ 自動返却機（ポスト型）もカウンター横に設置。視察時は、子どもが自動返却機に本を入れるのを楽しんでいる様子が見られた。
- ・ 予約本もセルフで貸出可能。予約棚から利用者自身が本を取り貸出。
- ・ 月 1 回大人向けのイベント「図書館カフェ」を実施。参加人数は 1 回当たり 17.4 名で 70 代が中心。「おひとりさまの居場所」づくりに貢献。
- ・ イオンモールと連携し、寄席イベントを定期的開催。
- ・ 書架の随所に本を模した立体作品がある。
- ・ ティーンズコーナーに、図書利用カード作成の案内パンフレットを設置。
- ・ バリアフリーコーナーに、LL ブックなど関連用語の紹介ボードを常設。リーディングトラッカー等の視覚支援機器もカウンターで貸出。



外観



立体作品



バリアフリーコーナー

5 成果及び今後の展望

- ・明るく心地が良い、過ごしやすい雰囲気だった。“居心地の良い”場所にするためには、雑談しやすい雰囲気づくりが重要と感じる。
- ・寄席や図書館カフェのように、大人をターゲットにしたイベントの開催により、子連れではない層の利用促進にもつながると考える。
- ・当館ではティーンズ世代の貸出しが伸び悩んでいることから、ティーンズ向けの図書利用カードの作成に関する案内を学習席に設置することで、ティーンズ世代の更なる利用促進につながると考える。
- ・当館も、子どもから大人まで“あらゆる人々に開かれた”図書館を目指したい。

<令和7年度先進地視察の報告>

全ての世代を結ぶ“滞在型”融合施設の取組について

1 視察先

ゆいの森あらかわ（東京都荒川区）

2 視察日時

令和7年10月23日（木）9：30～12：00

3 視察目的

「中央図書館」・「吉村昭記念文学館」・「子どもひろば」の3つの機能が一体となった、あらゆる世代が滞在できる融合施設[※]。荒川区では、令和5年に、「荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例」を制定。利用者自らが学び、体験し、人と人とが交流できる、地域の文化やコミュニティの拠点づくりを目指しており、その取組について調査する。

※融合施設：3つの機能（図書館・文学館・こどもひろば）をエリア分けすることなく事業展開する施設。

4 視察内容

(1) 施設

- ・ 駐車場は12台。（障がい者用2台、普通車用10台）
- ・ 免震構造。発電機や備蓄倉庫などを設置し、災害時は避難所となる。
- ・ 1階から5階まで各階をつなぐ吹き抜けが交差するように配置し、騒音が直接上に伝わらない構造。また、上の階になるにつれて、心が落ち着けるように照明や空間をゆるやかにゾーニングしている。

(2) 利用について

- ・ 乳幼児から高齢者まで、1日に約2,000人が来館。
- ・ 地域コミュニティの拠点のため、会話OK。静寂な空間が良い場合は、学習室を案内。
- ・ 学習席は来館前に予約可能。
- ・ 世代間・地域間交流を促すため、雑談・飲食可能なスペースの提供などを行い、利用者のニーズに応じている。
- ・ 施設内の各機能に応じて、専門家を設置。（図書館：司書、文学館：学芸員、遊びラウンジ：保育士、学びラウンジ：活動支援員）
- ・ 施設の利用案内表示に、ピクトグラムを採用。誰もが利用できる配慮をしている。

(3) 図書館機能について

- ・ 1階＝えほん館・柳田邦男絵本コーナー。2階＝児童書・ティーンズコーナー、3階＝一般書、4階＝専門書と棲み分けしている。
- ・ プライバシー確保のために、自動貸出機を導入。
- ・ 毎週火曜日に選書会議を開き、各館の代表者で会議。CDは月1回購入。
- ・ 図書リストは2年に1回改訂。中央図書館と地域図書館で改訂作業を行う。
- ・ 絵本館の書架は円形にしている。非日常感・わくわく感を創出。
- ・ 各階に閉架書庫を設置。職員が資料を取りに行きやすいほか、各階の分類ごとに資料保存が可能。
- ・ 特集コーナー（展示）を月に約20回実施。テーマにあわせて配架場所を変更。
- ・ 施設内のカフェで、毎月内容を変えて本を展示。貸出しを受けていない本の持ち込みもOK。店内にブックリターンあり。
- ・ ビジネス仕事支援コーナーでは、無料の税務相談に加え、関連図書等を設置。
- ・ 中央図書館であるため、地域図書館単体では実施が難しい連携事業を積極的に行っている。（例：司書×保育士によるクリスマス会、図書館×他課による俳句の作品展関連展示）



↑ えほん館



↑ カフェ店内で展示



← 学びラウンジ
体験キット・関連図書展示

5 成果及び今後の展望

- ・ 1つの施設内で本×人×遊びとの出会いが生まれ、利用者それぞれの過ごし方を尊重し、時間を気にせずゆったり過ごせる心地の良い場所と感じた。
- ・ ゆいの森オリジナル体験キットと関連図書を組み合わせた学びの仕組みは、理科離れの防止及び調べる学習の推進につながっていると感じた。「体験＋調べる」の取組を取り入れたい。
- ・ ビジネス仕事支援コーナーの取組を参考に、地域のニーズを取り上げ、各分野の専門家による講演会やタイアップ展示など実施していきたい。

<令和7年度先進地視察の報告>

子どもの読書活動の推進について

1 視察先

調布市立図書館（東京都調布市）

2 視察日時

令和7年10月23日（木）14:00～16:00

3 視察目的

調布市立図書館は、選書会議を開き、購入図書を決定していることや各種図書リストを作成するなど、子どもの読書に重点を置いている。当市と同じく中核市である調布市（面積 21.58km²、人口 239,726 人）における、子どもの読書活動の取組について調査する。

4 視察内容

- ・本と子どもを結びつける機会として、おはなし会、ブックスタート、小学生読書会、子どもの本に親しむ会、ぶちねこ便（中学生記者作成冊子）等の行事を実施。
- ・他機関と連携し、出張図書館ガイダンスやおはなし会、職場体験の受入れ等に対応。
- ・購入する本の内訳は、6割が買い替え、4割が新刊。新刊本の購入選定は、図書の分類別に担当を決め、全ての職員で実施。週1回の選定会で選書し、レビュースリップを作成。月に2回、全館の代表者で選定会を開催し、評価が高い作品をリストに掲載。
- ・絵本の選定では、おはなし会を活用して子どもの評価を確認している。読み手は図書館職員。
- ・「良書」と評価した本は、全館で所蔵するほか複本を持つなど、資料保存にも努めている。
- ・対象別や用途にあわせた図書リストを職員が作成し、館内配布、ブックスタート及びブックトークで活用。また、リストの一部は、ホームページで公開や販売もしている。
- ・「絵本の読み聞かせ講座」を年1回連続講座で開催。また、読み聞かせグループと図書館職員で読み聞かせ交流会を実施し、悩み相談や情報交換を行う。さらに、これから読み聞かせを始めたい方に対しボランティアを募集している関連施設を紹介。



←子どもの本に親しむ会関連図書展示



↑図書リストの配布



↑レビュースリップの保存

5 成果及び今後の展望

- 図書館職員が本1冊1冊を丁寧かつ責任を持って選んでおり、良書を選ぶ目や判断力を養うためにも、図書館職員の質を高めることにつながっていると感じた。
- 図書リストは、読む本がわからないときや、図書館が薦める絵本を知りたいときの参考になる。今後、当館で作成中の図書リストも、館内配布やホームページで公開し周知するとともに、引き続き年齢別やテーマに合わせたリストを作成していきたい。
- 読み聞かせボランティア育成の観点から、当館においても既に実施している絵本の読み聞かせや、わらべうたの講習会の開催を続けていきたい。また、読み聞かせ交流会の実施や、読み聞かせ活動を始めたい方への必要な情報の提供は、読み聞かせの幅を広げるとともに、新たな人材発掘にもつながるため、今後新たに実施していきたい。

<令和7年度先進地視察の報告>

調べる学習の推進について

1 視察先

白山市立松任図書館（石川県白山市）

2 視察日時

令和7年11月26日（水）13:30～15:30

3 視察目的

「白山市図書館を使った調べる学習コンクール」（地域コンクール）では、令和3年度から応募数が2,000点を超えていることから、白山市における取組を調査する。併せて、図書館に併設されている白山市学校図書館支援センターの業務内容や取組についても調査する。

（参考）

白山市：市内小中学校28校（小学校19校、中学校9校）

八戸市：市内小中学校67校（小学校41校、中学校26校）

4 視察内容

(1) 白山市における調べる学習コンクールへの取組体制

コンクールの事務局は図書館で、調べる学習支援講座の開催やコンクール事務を担当する。また、学校図書館支援センター（学校指導課）は、コンクールの事務補助として、審査員のほか、調べる学習関連を含む学校図書館からの貸出依頼・レファレンスに対応する。

(2) 松任図書館の取組

- ・調べ学習チャレンジセミナーの開催（講師・地域コンクール元審査員）
- ・地域コンクール募集要項は、必要最低限で簡潔。「作品をよりレベルアップしたいなら」と題し、全国規定も併せて記載している。
- ・調べる学習の館内展示に合わせ、コンクール募集要項、テーマ例リスト、調べ学習しつもん票（児童・学生のレファレンス用）など調べる学習関連資料をセットにして設置。
- ・希望する学校に複製作品の貸出しを行っている。

(3) 学校支援センターの取組

- ・学校図書館からの貸出依頼受付・レファレンスに対応する。
- ・図書館や支援センターから学校へ貸し出す資料の処理・配送を行う。
- ・学校が優先的に使える、調べる学習用の資料を収集・管理する。



図書館1階 書架



支援センター 配送ボックス



支援センター 書庫

5 成果及び今後の展望

- ・図書館と学校図書館支援センターが連携し、手厚い学校支援を行っていることが、調べる学習コンクールの応募につながっていると感じた。
- ・調べる学習を知ってもらうための施策として、次の取組を実施したい。
 - ①調べる学習関連資料の作成・設置
 - ②希望する学校へ複製作品の貸出し
- ・現在、当市の地域コンクール募集要項は全国コンクールと同様にしているが、応募難易度を下げするために地域コンクール募集要項を一部簡略化することを視野に入れたい。

＜令和 7 年度先進地視察の報告＞

公設民営書店と図書館

1 視察先

TSURUGA BOOKS & COMMONS ちえなみき（福井県敦賀市）

2 視察日時

令和 7 年 11 月 27 日（水）14：00～14：50

3 視察目的

図書館と連携する公設書店の運営や空間構成について調査する。これまで、ブックセンターをはじめ他課の職員による視察は行われてきたが、図書館の立場から視察することで、図書館サービスとの相互補完や今後の関係施設との連携の在り方の参考とする。

4 視察内容

(1) 運営及び空間構成

- ・敦賀市が設置し、運営は民間（丸善雄松堂・編集工学研究所）。選書は主に編集工学研究所が行う。
- ・文脈棚と呼ばれる書架は、実用書・小説などジャンルに係わらず、テーマごとに並べられている。
- ・本を横置きしたり、他の本に立てかけて置いたりすることで、自分の興味がある本以外も手に取るきっかけを作っている。

(2) 図書館及び学校との連携について

- ・敦賀市立図書館とのコラボ展示・イベント

敦賀市立図書館員が選んだ本をちえなみきで展示・販売、ちえなみき職員が選んだ本を敦賀市立図書館で展示。ちえなみき 2 階で、敦賀市立図書館職員による本のコーティング体験イベント（市民向け）を実施。

- ・学校支援として、本を買う体験、見学や職場体験を受け入れている。



1 階文脈棚①



1 階文脈棚②



階段横文脈棚



2階から見た文脈棚

5 成果及び今後の展望

- ・利用者の時間節約のため、規定どおり分かりやすく本を並べる図書館とは異なり、ちえなみきでは本を探す楽しさ、偶然の一冊との出会いを重視しているように感じた。
- ・ちえなみきで見られた、ジャンルにとらわれないテーマごとの本の選書は、利用者が普段手に取らない本を手にするきっかけ作りとして、図書館におけるテーマ展示の選書などの参考にできる。

<令和 7 年度先進地視察の報告>

図書館の改修について

1 視察先

福井市立図書館（福井県福井市）

2 視察日時

令和 7 年 11 月 27 日（木） 10：00～12：00

3 視察目的

福井市立図書館は昭和 51 年に開館し、令和 4 年 9 月から令和 6 年 5 月まで休館し、リニューアル工事を行った。当館も新築開館から同程度の年数が経過しており、今後、建て替えや大規模改修を検討する時期を迎えることから、福井市立図書館を視察し、施設改修に至った背景、改修内容及び運営上の工夫について調査する。

4 視察内容

(1) 改修に至った経緯

施設の老朽化により、移転も検討したが財政的理由などから困難であり、リニューアルとなった。平成 29 年から、「第 7 次福井市総合計画」（5 か年計画）に大規模改修・増築によるリニューアル事業として位置付ける。

(2) スケジュール

平成 29 年	市民アンケート調査実施
平成 30 年 3 月	『福井市立図書館リニューアル事業基本構想』を策定
平成 31 年 3 月	基本構想に基づき『福井市立図書館リニューアル事業基本計画』を策定
令和 2 年 9 月	基本設計・実施設計 ※令和 3 年 1 月の豪雪災害により計画が凍結される。
令和 4 年 9 月	リニューアル工事着工（21 億円）
令和 5 年 12 月	建物完成
令和 6 年 5 月	開館

(3) リニューアルの内容

- ・リニューアルに際し、交付金の対象とするため、有料で貸出しする多目的ホール等を備えた「地域交流センター」を併設。
- ・駐車場の一部を廃止し可動式閉架書庫を増築したことにより、収蔵能力が大幅に増えた。旧館の書庫は、そのまま活用。
- ・書架は県産材を使用し、全て入れ替えたが、予算の都合で最下段を傾斜棚にできなかったため、本が取り出しにくい。

- ・授乳室、子供用トイレ、グループ学習室、テラス席を設置。
- ・建替えではないため、基礎や柱、天井の高さを変えることができず、開架部分が少し縮小するなど、思ったような仕様にはならなかった。
- ・天井の低さをカバーするため、一部円形の吹き抜けを作ったところ、大変好評である。

(4) 休館中の対応

- ・休館中は市内他施設を使用し業務（事務室・臨時貸出窓口・移動図書館）に当たった。
- ・開架の資料をすべて箱詰めし、搬出する作業が大変だった。
- ・改修のための設計図や施工の確認及び点検のため、建築関係の部署から1名異動させることにより対応。



図書館外観



新設した吹き抜け



図書館入口

5 成果及び今後の展望

- ・計画の策定から工事完了まで、長い年月を要している。図書館改修・建築に当たっては、ハード面だけではなく、図書館の目指すべき方向性や、求められる機能等について把握し、十分な検討期間を経て進めていく必要があると認識した。また、予算及び人材の確保の重要性も再認識した。
- ・施設や設備の現状、利用者ニーズの変化及び運営上の課題について、日常業務の中で意識的に記録・整理を行い、将来の改修や建替えを見据えた基礎資料として蓄積していく必要がある。
- ・日頃から職員間で課題を整理し、将来像を共有することが重要である。
- ・国の交付金の対象となるため、リニューアルに合わせて複合施設とした。利用者サービスの向上や財政面も鑑みて、複合施設化も視野に入れながら、国の方針も注視し、よりよい図書館建設のため情報収集をしていく。

○令和7年度八戸市図書館事業計画からの変更点

1. 削除する事業 2件

《基本方針1 本を読む楽しみを支える図書館》 基本施策(3) 子どもの読書活動の推進

No.	事業名	事業内容	担当館
24	ブックスタート・フォローアップ事業の検討(予定)	○「ブックスタート事業」で絵本と出会った親子に対して、家庭での読書環境の継続と充実を支援し、読書を通じた子どもの豊かな心を育むとともに、図書館の利用促進を図るため、3歳児に絵本を1冊と絵本リストや利用案内等を配付する事業の具体化に向けて検討を進める。	本館

《基本方針1 本を読む楽しみを支える図書館》 基本施策(5) 学校との連携

No.	事業名	事業内容	担当館
31	学校訪問	○分館近隣の小中学校で、読み聞かせ・ブックトーク・企画展示等を行う。	南郷センター

2. 内容を変更する事業 12件

《基本方針1 本を読む楽しみを支える図書館》 基本施策(2) 読書活動の推進

No.	事業名	事業内容	担当館
4	本と雑誌のリサイクルフェア	○市民から募集した不要本と図書館で除籍した本・雑誌を無償で提供する。	本館 南郷センター
11	ブックリストの作成	【変更前】 ○図書館、ブックセンター、教育指導課、外部委員で構成する「選書委員会」を立ち上げ、ブックリストを作成する。(本館のみ) ○企画展示等にあわせてブックリストを作成し、利用者に提供する。 【変更後】 ○図書館おすすめ図書リストを作成する。(本館のみ) ○企画展示等にあわせてブックリストを作成し、利用者に提供する。	本館 南郷センター
50	【変更前】 定期的な休館日導入の検討 【変更後】 定期的な休館日の導入	【変更前】 ○企画運営のための打ち合わせ等を行う時間を確保し、利用促進のためのサービス向上を図るため、週1日等、定期的な休館日導入について検討を進める。 【変更後】 ○企画運営のための打ち合わせ等を行う時間を確保し、利用促進のためのサービス向上を図るため、定期的な休館日を導入する。	本館 南郷センター

《基本方針1 本を読む楽しみを支える図書館》 基本施策(2) 読書活動の推進

《基本方針2 誰もが利用できる図書館》 基本施策(2) 高齢者や障がい者等へのサービスの充実

No.	事業名	事業内容	担当館
5	施設配本	○公民館・高齢者施設・児童館・療護園などの施設に150冊を上限に3か月以内の期間で貸出しする。	本館 南郷

《基本方針1 本を読む楽しみを支える図書館》 基本施策(3) 子どもの読書活動の推進

No.	事業名	事業内容	担当館
26	おはなし会	○ボランティア団体や個人のボランティアと協働でおはなし会を定期及び季節ごとに開催する。 ○本館→分館で連携したおはなし会を企画→開催する。	本館 南郷センター

《基本方針1 本を読む楽しみを支える図書館》 基本施策(4) ボランティアとの連携

《基本方針2 誰もが利用できる図書館》 基本施策(4) 分館・分室の利活用の検討【再掲】

No.	事業名	事業内容	担当館
28	【変更前】 分室の運営 【変更後】 分室運営の見直し	【変更前】 ○市内の公民館等に分室を設置し、週1～2回ボランティアによる運営を行う。 【変更後】 ○市内の公民館等で、週1～2回ボランティアにより運営している分室の今後のあり方について検討する。	本館

《基本方針1 本を読む楽しみを支える図書館》 基本施策(4) ボランティアとの連携

No.	事業名	事業内容	担当館
30	ボランティア受入	○おはなし会・ブックスタート・分室でのボランティアを受け入れる。【新規追加】 ○書架整理や排架・新聞括り・クリッピング・草刈り等業務をサポートするボランティアを受け入れる。 ○三戸地域自立相談窓口利用者のボランティアを受け入れる。	本館 南郷 センター

《基本方針1 本を読む楽しみを支える図書館》 基本施策(6) 他施設（課）との連携

No.	事業名	事業内容	担当館
33	他施設との連携	○「本のまち八戸」を推進するため、八戸ブックセンターと連携した企画事業に取り組む。 ○博物館・美術館等他施設や、教育指導課・総合教育センターなど他課とも連携し、事業を実施する。 ○南郷図書館では南郷文化ホールと共催で、夏と冬におはなし会を開催する。 ○他課と連携し、企画展示とあわせて各課事業のPRを行う。【新規追加】	本館 南郷

《基本方針2 誰もが利用できる図書館》 基本施策(2) 高齢者や障がい者等へのサービスの充実

No.	事業名	事業内容	担当館
37	高齢者、障がい者用図書の充実	○本を読む事に困難を伴う様々な方のため、活字の大きい図書(大活字本)・LLブック※・朗読CD等の資料を収集する。 ○収集した資料を展示し利用促進を図る。	本館 南郷

《基本方針2 誰もが利用できる図書館》 基本施策(3) デジタル化の推進

No.	事業名	事業内容	担当館
38	【変更前】 電子書籍の導入検討 【変更後】 電子図書館の利用促進	【変更前】 ○図書館に足を運ばなくとも本に親しめるよう、電子書籍の導入を検討する。 【変更後】 ○費用対効果や書籍の分類ごとの利用頻度などを検証し、利用促進を図る。 ○体験会を開催する。	本館
39	【変更前】 図書館システムの改修・更新 【変更後】 図書館システムの活用	【変更前】 ○図書館システムについて、より使いやすいようにインターネット予約サービスの改修を行うとともに、システム更新に併せたICタグや自動貸出機等の導入を検討する。 【変更後】 ○図書館システムを活用し、蔵書検索や予約などのインターネットサービスや館内での蔵書検索、セルフ貸出サービスを提供する。	本館

《基本方針4 郷土の歴史や文化を次世代へ継承する図書館》 基本施策(1) 古文書の保存管理と活用の推進

《基本方針4 郷土の歴史や文化を次世代へ継承する図書館》 基本施策(2) 郷土資料の充実【再掲】

No.	事業名	事業内容	担当館
48	郷土に関する書籍の刊行・販売	○郷土に関する書籍を年1冊刊行し、郷土に関して学習するための基本資料を提供する。 ○刊行した書籍の販売や、販売促進のため広報を行う。	本館

3. 新規事業 4件

《基本方針1 本を読む楽しみを支える図書館》 基本施策(2) 読書活動の推進

No.	事業名	事業内容	担当館
51	図書館まつり	○図書館を使った調べる学習コンクールの周知拡大をはじめ、新たな図書館利用者の発掘及び図書館利用の促進を図るためのイベントを開催する。	本館
52	開館時間外を活用したイベントの開催	○新たな利用者発掘及び図書館利用の促進を図るため、開館時間外を活用し、利用者ニーズに即したイベントを開催する。	本館
53	カウンター業務の見直し	○カウンターサービスの向上を目指し、接遇研修等を実施するほか、民間委託等新たな運営方式について検討する。	本館

《基本方針2 誰もが利用できる図書館》 基本施策(4) 分館・分室の利活用の検討

No.	事業名	事業内容	担当館
54	本館及び分館の連携事業	○県内図書館等一斉展示やブックフェスなど、本館と分館が連携した事業を展開する。また、各館のイベント等を相互に館内掲示するなど、連携して利用促進を図る。	本館 南郷センター

(案)

八戸市図書館 事業計画

令和8年度

八戸市図書館

目次

▶基本方針1	本を読む楽しみを支える図書館	1
	基本施策	
	(1)図書資料の充実	
	(2)読書活動の推進	
	(3)子どもの読書活動の推進	
	(4)ボランティアとの連携	
	(5)学校との連携	
	(6)他施設(課)との連携	
▶基本方針2	誰もが利用できる図書館	4
	基本施策	
	(1)老朽化への対応とユニバーサルデザイン化の推進	
	(2)高齢者や障がい者等へのサービスの充実	
	(3)デジタル化の推進	
	(4)分館・分室の利活用の検討	
▶基本方針3	生涯にわたる学びを支え、暮らしや地域の課題解決を支える図書館	5
	基本施策	
	(1)課題解決に役立つ幅広い分野の資料の収集と提供	
	(2)レファレンスサービス・レフェラルサービスの充実	
	(3)学習機会の提供	
	(4)多様な情報媒体の活用	
▶基本方針4	郷土の歴史や文化を次世代へ継承する図書館	6
	基本施策	
	(1)古文書の保存・管理と活用の推進	
	(2)郷土資料の充実	

○ はじめに

八戸市図書館運営方針(令和6年2月20日改定)では、八戸市図書館の目指す将来像としての「集まる つなぐ 広がる 楽しむ 育む 図書館」の実現に向けて、4つの基本方針の下、令和6(2024)年度から令和10(2028)年度までの5年間に取り組む基本施策を掲げています。

本事業計画は、上記運営方針に基づき、八戸市立図書館・南郷図書館・図書情報センターの3館が所管する主要な事業を整理したものであり、毎年度の点検・評価を基に更新を図るものです。

○ 令和8年度計画掲載事業数(全51事業(累計76事業))

基本方針	基本施策	事業数 ()内再掲数
1 本を読む楽しみを支える図書館	(1)図書資料の充実	3
	(2)読書活動の推進	14
	(3)子どもの読書活動の推進	12
	(4)ボランティアとの連携	5 (2)
	(5)学校との連携	2 (2)
	(6)他施設(課)との連携	5 (2)
	小計	41 (6)
2 誰もが利用できる図書館	(1)老朽化への対応とユニバーサルデザイン化の推進	1
	(2)高齢者や障がい者等へのサービスの充実	4 (2)
	(3)デジタル化の推進	3
	(4)分館・分室の利活用の検討	3 (1)
	小計	11 (3)
3 生涯にわたる学びを支え、暮らしや地域の課題解決を支える図書館	(1)課題解決に役立つ幅広い分野の資料の収集と提供	2 (2)
	(2)レファレンスサービス・レフェラルサービスの充実 ※	2
	(3)学習機会の提供	10 (9)
	(4)多様な情報媒体の活用	1
	小計	15 (11)
4 郷土の歴史や文化を次世代へ継承する図書館	(1)古文書の保存管理と活用の推進	6 (3)
	(2)郷土資料の充実	3 (2)
	小計	9 (5)
合計		76 (25)

※ レファレンスサービス … 調べたいことや探している資料等の質問について、必要な資料・情報を案内する図書館サービス

レフェラルサービス … 利用者が必要とする情報の情報源となりうる人物や機関・組織を案内する図書館サービス

◇ 凡例

本計画内での表記は、次のとおりとする。

- ・再掲:複数の基本施策に資する事業で、本計画で既出の事業であるもの
- ・本館:八戸市立図書館
- ・南郷:南郷図書館
- ・センター:図書情報センター

《基本方針1 本を読む楽しみを支える図書館》

基本施策(1) 図書資料の充実

No.	事業名	事業内容	担当館
1	図書館資料の収集・整理	○「八戸市図書館資料収集要綱」に基づき、多様な資料を収集するとともに適正な保存管理に努める。 ○「雑誌スポンサー制度」の活用により、雑誌の充実を図る。	本館
2	リクエストへの対応	○市民の要望に応えるため、1人当たり年間10件までリクエストを受け付ける。(市内在住・通勤・通学者のみ) ○「八戸市図書館資料収集要綱」に基づき所蔵の可否を決定する。	本館
3	アンケート調査	○市民のニーズを把握するため、アンケートを実施する。	本館 南郷センター

基本施策(2) 読書活動の推進

No.	事業名	事業内容	担当館
4	本と雑誌のリサイクル	○市民から募集した不要本と図書館で除籍した本・雑誌を無償で提供する。	本館 南郷センター
5	施設配本	○公民館・高齢者施設・児童館・療護園などの施設に150冊を上限に3か月以内の期間で貸出する。	本館
6	図書館相互利用事業	○八戸圏域連携中枢都市圏の市町村図書館が、圏域内の図書館・図書室での図書館の相互利用を行う。 ○協定を締結した岩手県北の市町村(久慈市・二戸市・洋野町・軽米町・九戸村)で図書館の相互利用を行う。	本館 南郷センター
7	相互貸借	○市図書館に所蔵がなく、購入もできない図書を県内外の図書館から借り受け、利用者へ提供する。(市内在住・通勤・通学の利用者のみ)	本館
8	移動図書館での貸出サービス	○高齢者や図書館への来館が難しい方のために移動図書館車で市内50か所を定期的に巡回する。	本館
9	企画展示	○季節・行事・時事問題・他施設(課)との連携など多様なテーマでの展示を行い、来館者が資料を手に取りやすい環境を整備し、利用促進を図る。	本館 南郷センター
11	ブックリストの作成	○図書館おすすめ図書リストを作成する。(本館のみ) ○企画展示等にあわせてブックリストを作成し、利用者に提供する。	本館 南郷センター
12	団体貸出	○市内の学校・施設・任意団体等に対し、50冊を上限に貸出しを行う。	本館 南郷センター
13	秋の読書週間行事	○「読書週間」(10/27~11/7)に講演会・朗読会・展示等を開催する。	本館 南郷センター
14	あおり冬の読書週間行事	○「あおり冬の読書週間」(1/5~1/26)に展示等を開催する。	本館 南郷センター
50	定期的な休館日の導入	○企画運営のための打ち合わせ等を行う時間を確保し、利用促進のためのサービス向上を図るため、定期的な休館日を導入する。	本館 南郷センター
51	図書館まつり	○図書館を使った調べる学習コンクールの周知拡大をはじめ、新たな図書館利用者の発掘及び図書館利用の促進を図るためのイベントを開催する。	本館
52	開館時間外を活用したイベントの開催	○新たな利用者発掘及び図書館利用の促進を図るため、開館時間外を活用し、利用者ニーズに即したイベントを開催する。	本館
53	カウンター業務の見直し	○カウンターサービスの向上を目指し、接遇研修等を実施するほか、民間委託等新たな運営方式について検討する。	本館

基本施策(3) 子どもの読書活動の推進

No.	事業名	事業内容	担当館
15	発達段階に応じた本の整備	○子どもの発達・成長段階に応じた絵本や児童書、中高生向けの本を収集し、手に取りやすいよう工夫して排架する。	本館 南郷 センター
16	学校配本	○学校図書館の資料充実を図るため、希望する市内小中学校にまとめて200冊を上限に、4か月間の期間で貸出しする。	本館
17	学校図書館出前講座	○図書に関する理解や関心を深めてもらうため、図書館職員が小中学校へ出向き、学校図書館の図書整理や読み聞かせの仕方等について児童生徒・教諭・ボランティア等を対象に講座を実施する。	本館
18	図書館見学の受入 職場体験等の受入	○小学校の社会科、生活科の授業における図書館見学を受け入れる。 ○中学生、高校生の職場体験を受け入れる。	本館 南郷 センター
19	図書館業務体験講座	○児童生徒に、図書館をより知ってもらい本に親しんでもらうため、図書館の仕事を経験する講座を開催する。	本館 南郷
20	調べる学習コンクール	○子どもたちが自ら考え学ぶ意欲と情報を活用する力を育てるとともに、図書館の利用促進を図るため、小中学生を対象に調べる学習コンクールを開催する。	本館
21	調べる学習チャレンジ講座	○調べる学習コンクールの作品作成に参考となるよう、小中学生・保護者・学校関係者を対象とした講座を開催する。	本館 南郷
22	夏休み調べる学習相談会	○学校夏休み期間に図書館職員が調べる学習の相談に対応する。	本館
23	ブックスタート事業	○乳幼児の豊かな心を育み、本に親しむきっかけをつくることを目的に実施。乳児股関節脱臼検診終了後、図書館職員が「ブックスタートパック」を配付し、ボランティアが一組ずつの親子を対象にブックスタートの趣旨を説明し、絵本の読み聞かせを行う。	本館
25	あかちゃんのおにわ	○生後4か月から2歳までの幼児とその保護者を対象に、小さな子どもと保護者が気兼ねなく来館し、本に親しめるようにスペースを提供する。	南郷
26	おはなし会	○ボランティア団体や個人のボランティアと協働でおはなし会を定期及び季節ごとに開催する。	本館 南郷 センター
27	子どもの読書週間行事	○「子どもの読書週間」(4/23～5/12)におはなし会・展示等を開催する。	本館 南郷 センター

基本施策(4) ボランティアとの連携

No.	事業名	事業内容	担当館
28	分室運営の見直し	○市内の公民館等で、週1～2回ボランティアにより運営している分室の今後のあり方について検討する。	本館
29	読み聞かせボランティアの育成	○読み聞かせボランティア育成のため、講座を開催する。	本館
30	ボランティア受入	○おはなし会・ブックスタート・分室でのボランティアを受け入れる。 ○書架整理や排架・新聞括り・クリッピング・草刈り等業務をサポートするボランティアを受け入れる。 ○三戸地域自立相談窓口利用者のボランティアを受け入れる。	本館 南郷 センター
再掲 23	ブックスタート事業	○乳幼児の豊かな心を育み、本に親しむきっかけをつくることを目的に実施。乳児股関節脱臼検診終了後、図書館職員が「ブックスタートパック」を配付し、ボランティアが一組ずつの親子を対象にブックスタートの趣旨を説明し、絵本の読み聞かせを行う。	本館
再掲 26	おはなし会	○ボランティア団体や個人のボランティアと協働でおはなし会を定期及び季節ごとに開催する。	本館 南郷 センター

基本施策(5) 学校との連携

No.	事業名	事業内容	担当館
再掲 17	学校図書館出前講座	○図書に関する理解や関心を深めてもらうため、図書館職員が小中学校へ出向き、学校図書館の図書整理や読み聞かせの仕方等について児童生徒・教諭・ボランティア等を対象に講座を実施する。	本館
再掲 18	図書館見学の受入 職場体験等の受入	○小学校の社会科、生活科の授業における図書館見学を受け入れる。 ○中学生、高校生の職場体験を受け入れる。	本館 南郷 センター

基本施策(6) 他施設(課)との連携

No.	事業名	事業内容	担当館
32	歴史講座	○郷土の歴史に対する理解や関心を深めてもらうため、博物館と図書館で共通のテーマを設け、市民を対象に歴史に関する講座を行う。	本館
33	他施設との連携	○「本のまち八戸」を推進するため、八戸ブックセンターと連携した企画事業に取り組む。 ○博物館・美術館等他施設や、教育指導課・総合教育センターなど他課とも連携し、事業を実施する。 ○南郷図書館では南郷文化ホールと共催で、夏と冬におはなし会を開催する。 ○他課と連携し、企画展示とあわせて各課事業のPRを行う。	本館 南郷
34	NAN号てもん教室	○視聴覚センター・児童科学館の協力を得て、南郷図書館駐車場にて天文教室を開催する。	南郷
再掲 7	相互貸借	○市図書館に所蔵がなく、購入もできない図書を県内外の図書館から借り受け、利用者へ提供する。(市内在住・通勤・通学の利用者のみ)	本館
再掲 9	企画展示	○季節・行事・時事問題・他施設(課)との連携など多様なテーマでの展示を行い、来館者が資料を手に取りやすい環境を整備し、利用促進を図る。	本館 南郷 センター

《基本方針2 誰もが利用できる図書館》

基本施策(1) 老朽化への対応とユニバーサルデザイン化の推進

No.	事業名	事業内容	担当館
35	施設設備の改修	○利用者の安全性・利便性を考慮しながら、館内の各コーナーの設置場所の見直しを含め、施設の改修を進める。	本館 南郷センター

基本施策(2) 高齢者や障がい者等へのサービスの充実

No.	事業名	事業内容	担当館
36	障がい者等配送貸出	○心身の障がい等により、図書館に来館が困難な方に、図書や雑誌を配送で貸出する。	本館
37	高齢者、障がい者用図書の充実	○本を読む事に困難を伴う様々な方のため、活字の大きい図書(大活字本)・LLブック※・朗読CD等の資料を収集する。 ○収集した資料を展示し利用促進を図る。	本館 南郷
再掲 5	施設配本	○公民館・高齢者施設・児童館・療護園などの施設に150冊を上限に3か月以内の期間で貸出する。	本館
再掲 8	移動図書館での貸出サービス	○高齢者や図書館への来館が難しい方のために移動図書館車で市内50か所を定期的に巡回する。	本館

※ LLブック …誰もが読書を楽しめるように工夫してつくられた「やさしく読みやすい本」のこと。

基本施策(3) デジタル化の推進

No.	事業名	事業内容	担当館
38	電子図書館の利用促進	○費用対効果や書籍の分類ごとの利用頻度などを検証し、利用促進を図る。 ○体験会を開催する。	本館
39	図書館システムの活用	○図書館システムを活用し、蔵書検索や予約などのインターネットサービスや館内での蔵書検索、セルフ貸出サービスを提供する。	本館
40	古文書検索システムの整備	○古文書検索システムの改修及び未登録の目録について整備を進め、検索システムで公開する。また、資料のデジタル化を図り、図書館ホームページで公開する。	本館

基本施策(4) 分館・分室の利活用の検討

No.	事業名	事業内容	担当館
41	分館の運営	○分館（南郷図書館・図書情報センター）を指定管理者により運営する。	本館
54	本館及び分館の連携事業	○県内図書館等一斉展示やブックフェスなど、本館と分館が連携した事業を展開する。また、各館のイベント等を相互に館内掲示するなど、連携して利用促進を図る。	本館 南郷センター
再掲 28	分室運営の見直し	○市内の公民館等で、週1～2回ボランティアにより運営している分室の今後のあり方について検討する。	本館

《基本方針3 生涯にわたる学びを支え、暮らしや地域の課題解決を支える図書館》

基本施策(1) 課題解決に役立つ幅広い分野の資料の収集と提供

No.	事業名	事業内容	担当館
再掲 2	リクエストへの対応	○市民の要望に応えるため、1人当たり年間10件までリクエストを受け付ける。(市内在住・通勤・通学者のみ) ○「八戸市図書館資料収集要綱」に基づき所蔵の可否を決定する。	本館
再掲 3	アンケート調査	○市民のニーズを把握するため、常設アンケートを実施する。	本館 南郷 センター

基本施策(2) レファレンスサービス・レフェラルサービスの充実

No.	事業名	事業内容	担当館
42	古文書・郷土資料等に関するレファレンス内容の整理	○古文書・郷土資料等についてのレファレンス記録を作成し、職員で共有する。	本館
43	職員研修・先進事例視察	○定期的な内部研修、また、外部研修の積極的な活用により職員によるレファレンス・レフェラルサービスの充実を図る。 先進事例を視察し、職員によるレファレンス・レフェラルサービスの充実を図る。	本館 南郷 センター

基本施策(3) 学習機会の提供

No.	事業名	事業内容	担当館
44	古文書解読講習会	○郷土の先人たちの記した文字「くずし字」を読み解きながら、古文書をもとに八戸市の歴史を学ぶ講座を行い、学習の場を提供するとともに、古文書解読ができる人材を育成する。	本館
再掲 13	秋の読書週間行事	○「読書週間」(10/27～11/7)に講演会・朗読会・展示等を開催する。	本館 南郷 センター
再掲 18	図書館見学の受入 職場体験等の受入	○小学校の社会科、生活科の授業における図書館見学を受け入れる。 ○中学生、高校生の職場体験を受け入れる。	本館 南郷 センター
再掲 19	図書館業務体験講座	○児童生徒に、図書館をより知ってもらい本に親しんでもらうため、図書館の仕事を経験する講座を開催する。	本館 南郷
再掲 20	調べる学習コンクール	○子どもたちが自ら考え学ぶ意欲と情報を活用する力を育てるとともに、図書館の利用促進を図るため、小中学生を対象に調べる学習コンクールを開催する。	本館
再掲 21	調べる学習チャレンジ講座	○調べる学習コンクールの作品作成に参考となるよう、小中学生・保護者・学校関係者を対象とした講座を開催する。	本館 南郷
再掲 22	夏休み調べる学習相談会	○学校夏休み期間に図書館職員が調べる学習の相談に対応する。	本館
再掲 29	読み聞かせボランティアの育成	○読み聞かせボランティア育成のため、講座を開催する。	本館
再掲 32	歴史講座	○郷土の歴史に対する理解や関心を深めてもらうため、博物館と図書館で共通のテーマを設け、市民を対象に歴史に関する講座を行う。	本館
再掲 34	NAN号てんもん教室	○視聴覚センター・児童科学館の協力を得て、南郷図書館駐車場にて天文教室を開催する。	南郷

基本施策(4) 多様な情報媒体の活用

No.	事業名	事業内容	担当館
45	各種媒体による情報発信	○図書館ホームページ・広報はちのへ・新聞紙面に加え、即時性・発信力の高いSNSを活用した情報発信を行う。	本館 南郷 センター

《基本方針4 郷土の歴史や文化を次世代へ継承する図書館》

基本施策(1) 古文書の保存管理と活用の推進

No.	事業名	事業内容	担当館
46	古文書解説事業	○古文書を良好な状態で整理・保存するとともに、八戸藩の日記などを解説し、市民の利用に供する。	本館
47	歴史資料の収集・整理・保存・活用	○八戸市の歴史に関する資料を収集・保存し、目録を作成する。 ○作成した目録のデジタル公開を行い、資料の活用を図る。	本館
48	郷土に関する書籍の刊行・販売	○郷土に関する書籍を刊行し、郷土に関して学習するための基本資料を提供する。 ○刊行した書籍の販売や、販売促進のため広報を行う。	本館
再掲 32	歴史講座	○郷土の歴史に対する理解や関心を深めてもらうため、博物館と図書館で共通のテーマを設け、市民を対象に歴史に関する講座を行う。	本館
再掲 40	古文書検索システムの整備	○古文書検索システムの改修及び未登録の目録について整備を進め、検索システムで公開する。また、資料のデジタル化を図り、図書館ホームページで公開する。	本館
再掲 44	古文書解説講習会	○郷土の先人たちの記した文字「くずし字」を読み解きながら、古文書をもとに八戸市の歴史を学ぶ講座を行い、学習の場を提供するとともに、古文書解説ができる人材を育成する。	本館

基本施策(2) 郷土資料の充実

No.	事業名	事業内容	担当館
49	郷土資料の収集・整理・保存	○購入・寄贈等により受け入れた郷土資料を、装備・図書登録し、利用者の閲覧利用に供する。 ○刊行物等の合冊、郷土の新聞記事を切り抜いたファイルの作成などにより、郷土資料の利便性を高める。	本館
再掲 42	古文書・郷土資料等に関するレファレンス内容の整理	○古文書・郷土資料等についてのレファレンス記録を作成し、職員で共有する。	本館
再掲 48	郷土に関する書籍の刊行・販売	○郷土に関する書籍を刊行し、郷土に関して学習するための基本資料を提供する。 ○刊行した書籍の販売や、販売促進のため広報を行う。	本館

発行・編集：八戸市立図書館

〒031-0022 青森県八戸市大字糠塚字下道2-1

TEL 0178-22-0266

<https://www.lib.hachinohe.aomori.jp/>



**令和7年度第2回 図書館協議会
事前質問への回答**

1	資料1-参考資料1 P2	指定休館日に関するアンケート実施結果
質問	<p>Q 1. 小学生の回答が高かった要因について伺いたい。</p> <p>Q 2. 回答した小学生からみた問2以降をセグメント分けて伺いたい。 (特に・問3 (利用頻度)・問7 (図書館サービスに求めること)・自由記述欄)</p> <p>Q 3. 「今夜はたのしまナイト!!」の対象層であった15歳～19歳(主に高校生)からみた問2以降をセグメント分けて伺いたい。 (特に・問3 (利用頻度)・問7 (図書館サービスに求めること)・自由記述欄)</p>	
回答	<p>A 1. 小学生の回答率が高いのは、小学生は親と一緒に来館することが多く、親に倣って回答したことが要因と思われます。</p> <p>A 2. 小学生について、回答件数は45件でした。(資料1追加資料参照) (問2) 普段もっとも利用している図書館は、図書館(本館)が最も多く31件、次いで南郷図書館9件、図書情報センター3件、移動図書館3件の順でした。 (問3) 図書館の利用頻度について、「月に数回」が27件で最も多く、「年に数回」が10件、「週に数回」が6件でした。 (問7) 図書館サービスとして期待することについて、複数回答可で69件の回答がありました。「書架の整とん」と「イベントの実施」が14件ずつで最も多く、次いで「もっと遅くまで開館してほしい」12件、「もっと朝早くから開館してほしい」「貸出しされていない本もWEB予約できるようにしてほしい」「その他」が8件ずつ、「電子図書館の導入」が5件でした。「書架の整とん」と「イベントの実施」は、他の年代と比較して多く選択されています。「その他」は「おはなし(会)が楽しかった」が1件、「なし・特になし」が6件、無記入が2件でした。</p> <p>A 3. 15歳～19歳について、回答件数は7件でした。(資料1追加資料参照) (問2) 普段もっとも利用している図書館は、すべて図書館(本館)でした。 (問3) 図書館の利用頻度について、「月に数回」が5件、「週に数回」と「年に1回」が1件ずつでした。 (問7) 図書館サービスとして期待することについて、複数回答可で13件の回答がありました。「もっと遅くまで開館してほしい」が6件、「貸出しされていない本もWEB予約できるようにしてほしい」が2件、「もっと朝早くから開館してほしい」「書架の整とん」「電子図書館の導入」が1件ずつでした。その他は、「土日の開館時間の延長」と「新しい本のリクエスト」が1件ずつありました。</p>	

2	資料3-2 P1	No.8 移動図書館での貸出サービス
質問	<p>定期的な休館日導入に伴い、移動図書館の更なる周知が必要と思われる。移動図書館を利用したことがない方への広報活動について、今後の計画を伺いたい。</p>	
回答	<p>これまで、年1回、広報はちのへでの周知のほか、図書館ホームページや公式X、また、ブックフェスなどで周知を図ってきました。今後もこれらを継続するほか、新たな広報活動についても模索していきます。</p>	

3	資料 3-2 P1	No. 11 ブックリストの作成
質問	おすすめ図書リストの企画が進んでいると思われるが、現時点でのリストのテーマについて伺いたい。年齢別、季節、特定のテーマ（クリスマス、入学入园）など、どのようなリストを検討されているのか。	
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・作成中のリストは、対象年齢別のおすすめ絵本（図書）を掲載しています。令和7年度の「図書館おすすめ絵本リスト えほんとなかよし」は、3歳～6歳を対象とし、出版から25年以上かつ、2025年12月現在、書店での入手が可能な図書の中から21冊選定しました。令和8年度は、0歳～2歳を対象とした絵本リストの作成を検討しています。 ・「マイブッククーポン推進事業」では、令和8年度作成分から、リストの各掲載本に図書館の所蔵情報にアクセスできるQRコードを付けることを予定しています。 	

4	資料 3-2 P1	No. 51 図書館まつり No. 52 開館時間外を活用したイベントの開催
質問	図書館まつりにおける成果・手応えを伺いたい。また、図書館まつり、開館時間外イベントなど通常業務と並行しての準備において、職員の負担が偏らないようにする工夫や、企画への意見が出しやすい環境とするために、昨年度の活動を通じた今後の工夫について伺いたい。	
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館まつりは、図書館を使った調べる学習コンクールの周知拡大をはじめ、新たな図書館利用者の発掘及び図書館利用の促進を図るため、令和7年11月23日（日）、八戸ポータルミュージアムはっち1階はっちひろばで開催しました。イベント来場者は162名でした。今回が初の開催となりましたが、調べる学習コンクールの入賞者によるポスター発表を実施し、来場者と活発にコミュニケーションを取る児童の様子が印象的だったほか、はっちで開催したことで、図書館利用者以外にも図書館の存在をPRする良い機会になったと感じています。 ・今年度は、「朝活図書館」を3回、「今夜はたのしまナイト！！」を4回開催するなど、利用者ニーズに応じて開館時間外を活用したイベントを実施しました。イベントの企画においては、いずれも新たに実施した企画であるため、職員及び会計年度任用職員による月末休館日を活用した全体ミーティングで準備状況を共有するほか、アイデアを募るなど、全体で取り組むよう努めました。引き続き、利用者ニーズに応じた企画や空間づくりを進めるため、職員への負担が偏らないよう今年度の実績を活かしながら十分な準備期間を確保するほか、進捗状況を共有してフォローしあう体制を構築し、企画を出しやすくするために、月末の全体ミーティングを活用するなど、職員一丸となって取り組みます。 	

5	資料 3-2 P3	No. 28 分室運営の見直し
質問	現在のボランティアによる運営が難しい状況になっているということか。ボランティアではなく、図書館から職員を派遣することは難しいのか。利用者減により分室の閉鎖もやむを得ないという状況なのか、今後の見直しの方向性を伺いたい。	
回答	図書館分室は、図書館から遠隔な地域の住民が身近に図書館資料を利用できるよう、地域の公民館及び集会室の施設内に設置されています。しかしながら、設置当初は多かった利用者が年々減少しているほか、令和7年11月からはこちらへ電子図書館を導入するなど、図書館を取り巻く状況に変化が生じています。これらの状況を総合的に勘案して、移動図書館の活用や配本などの代替案のほか、廃止も含めて運営の見直しを行います。	

6	資料 3-2 P3	No. 29 読み聞かせボランティアの育成
質問	令和8年度の講座の具体的な計画を伺いたい。	
回答	講座は開催予定ですが、詳細については検討中です。	

7	資料 3-2 P3	No. 30 ボランティア受入
質問	<p>Q1. 今後新規に募集するボランティアの内容について伺いたい。特に、草刈り業務については、重労働であることに加えケガなど事故の可能性もあり、ボランティアでまかなうのは難しいのではと個人的には考えます。</p> <p>Q2. 『三戸地域自立相談窓口』とはどのような団体か、伺いたい。</p>	
回答	<p>A1. 分館では、平成26年度から図書館美化やスタッフの業務補助を行うボランティアの受け入れを行っています。内容は、書棚の整理整頓、資料を請求記号順に並べる排架作業、新聞を日付順に整理し月毎に紐で括って保管する作業、八戸市に関する新聞記事を切り抜いて台紙に貼り付けるクリッピング作業等を想定しています。また、草刈り業務については、長年、南郷図書館駐車場の草刈りを実施していた団体が解散したほか、ボランティアの担い手不足が見込まれるため、今後は事業者への委託を検討しています。</p> <p>A2. 三戸地域自立相談窓口とは、青森県から委託を受け、青森県生活困窮者自立相談支援事業を行う事業所です。図書情報センターでは、事業所からの依頼に応じて、就労に不安がある人のボランティアを受け入れています。令和6年度及び令和7年度においては、依頼はありません。</p>	

8	資料 3-2 P3	No. 32 歴史講座 No. 33 他施設との連携
質問	令和 8 年度の具体的な連携企画について伺いたい。	
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は、「石」をテーマにした歴史講座を開催予定です。図書館担当の回では、お城の石垣や、市内に点在する石碑の素材などをテーマとする予定です。 ・今のところ博物館以外の施設との連携企画の予定はありません。 	

9	資料 3-2 P4	No. 38 電子図書館の利用促進
質問	現時点で電子図書館の利用実績について伺いたい。	
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数は令和 7 年 11 月は 908 冊、12 月は 527 冊、令和 8 年 1 月は 813 冊となっており、導入から 3 か月の合計は 2,248 冊です。なお、1 冊に対して、利用者 1 人とカウントしているため、表の貸出冊数は貸出利用者数と同数となります。（詳細は「資料 3-2 追加資料」参照） ・ログインパスワード登録者数は、電子図書館と図書館全体で共通利用としているため、電子図書館のみの登録者数は把握できません。 ・電子図書館導入から 3 ヶ月を経過しましたが、実績の推移をみますと、貸出冊数は 12 月に減ったものの、1 月は 11 月の冊数近くまで増えました。12 月は大きな地震の影響などもあったものと考えられます。 ・本館の直近 3 ヶ月の実績を昨年度と比較したものについては、入館者数や個人貸出冊数は減少しているものの、個人貸出利用者数はほぼ横ばいとなっています。 ・本館の階層別貸出利用者数は 60 歳以上の利用がとても多く、全体の半分近くの割合を占めています。 	

10	資料 3-2 P4	No. 38 電子図書館の利用促進
質問	<p>「費用対効果や書籍の分類ごとの利用頻度などを検証し、利用促進を図る。」とあるが、昨年 11 月 1 日～今年 1 月 31 日（計 92 日間）における、</p> <p>Q 1. 電子図書館を導入した手応え、課題、所見を伺いたい。</p> <p>Q 2. 電子書籍の購入は、「1 冊あたり 2 年間期限付き最大 52 回貸出制限付き契約」か。また、「児童書での不特定多数が同時閲覧可能な契約」か。</p>	
回答	<p>A 1. ・電子図書館導入後、図書館になかなか来館できないので、とても助かるという声や電子図書館を使うために利用カードを作りたいといった声が多数寄せられ、導入の効果を実感しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢別の実績では、30 歳以上の利用が多くなっています。こちらのターゲットとしている 10 代の利用は少ない状況ですので、ここの利用を伸ばすことが今後の課題です。対応策として、来年度は大学等に出向いて電子図書館の PR をできないか検討していく予定です。 <p>A 2. 「1 冊あたり 2 年間期限付き最大 52 回貸出制限付き契約」かについては、期間限定のタイトルもあれば、ライセンス販売型のタイトルも購入しています。また、「児童書での不特定多数が同時閲覧可能な契約」には該当しません。</p>	

11	資料 3-2 P6	No. 47 歴史資料の収集・整理・保存・活用
質問	資料のデジタル化及びホームページでの公開について、現時点での進捗状況について伺いたい。また、アンケートの回答に「Web で江戸時代の江戸城下地図を見たい」とあることを踏まえると、絵図面などを優先的に公開するといった基準があっても良いと感じたので、現時点で公開の優先順位などあれば伺いたい。	
回答	原物資料の劣化・破損が激しいものや、資料自体が大きく閲覧が難しいものなどを優先してデジタル公開したいと考えています。	

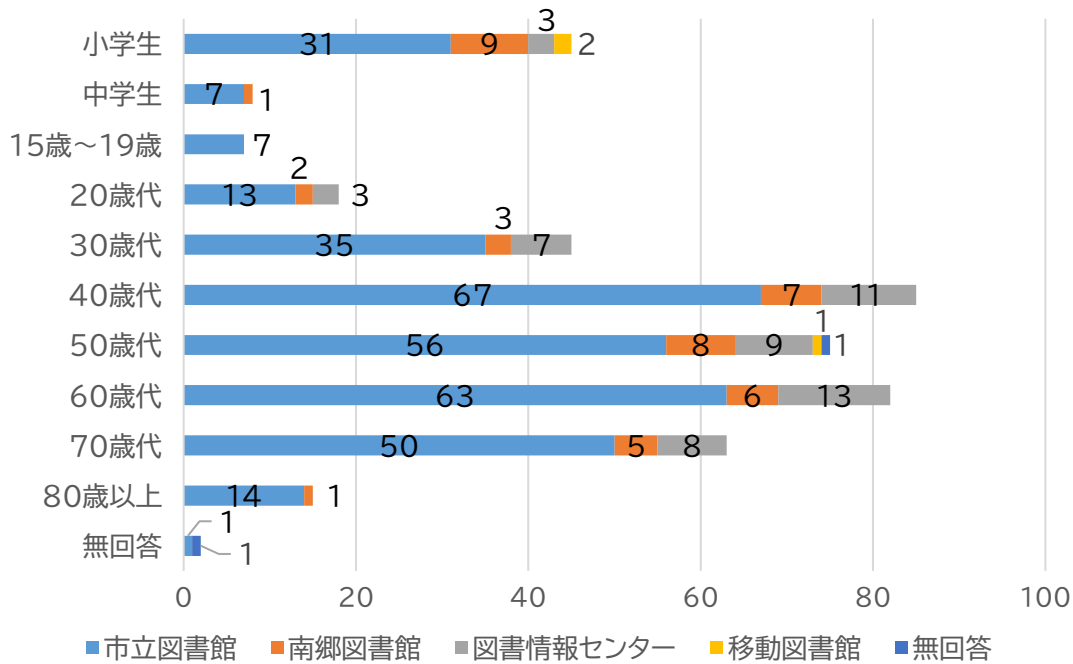
12	資料 3-2 P6	No. 47 歴史資料の収集・整理・保存・活用
質問	古文書の整理・保存・利用については、今後も継続し、可能であれば収蔵量の拡充を図っていただきたいと思っておりますが、デジタル資料の公開後、その利用に際して申請書の提出を求める等、何か規定を設ける予定はあるのか伺いたい。	
回答	利用に当たっては、現在の資料利用方法と同じく、「掲載許可申請書」を提出いただき、当館から許可を出し、成果品を提出してもらう手続きを取る予定です。	

13	資料 3-2 P6	No. 49 郷土資料の収集・整理・保存
質問	博物館が休館中の現在、資料の展示などもっと連携ができればと思っているが、今年度の歴史資料グループの展示計画や博物館との連携など、資料活用の計画について伺いたい。	
回答	歴史資料グループの郷土資料展示は、グループの職員が2ヶ月ごとに担当し、その都度テーマを決めています。令和7年度は、11月に観光課が開催した「吉田初三郎パネル展」に併せた展示、また、南郷合併20周年についての展示などを実施しました。今のところ来年度のテーマは決まっておりませんが、博物館を含め、他課のイベントと連携できることがあれば計画に盛り込むことも検討します。	

年齢別集計

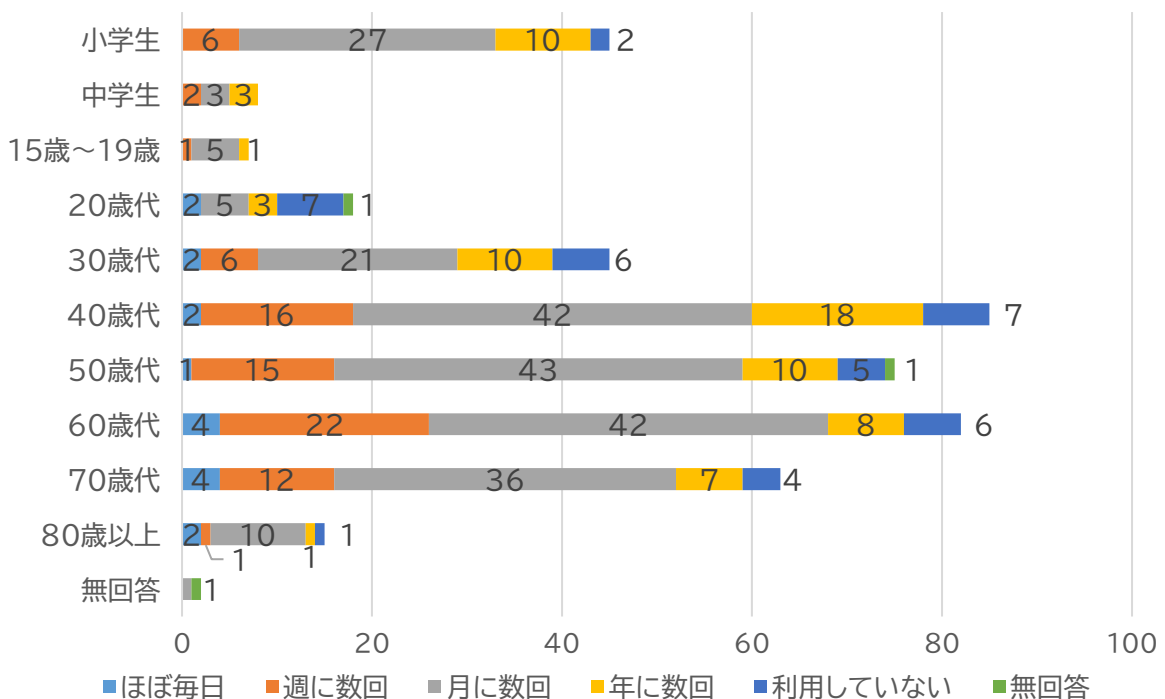
問2 普段、最も利用する図書館(回答件数:445 件)

全年代で、図書館(本館)を最も利用している。小学生では、移動図書館を最も利用するという回答が2件あった。



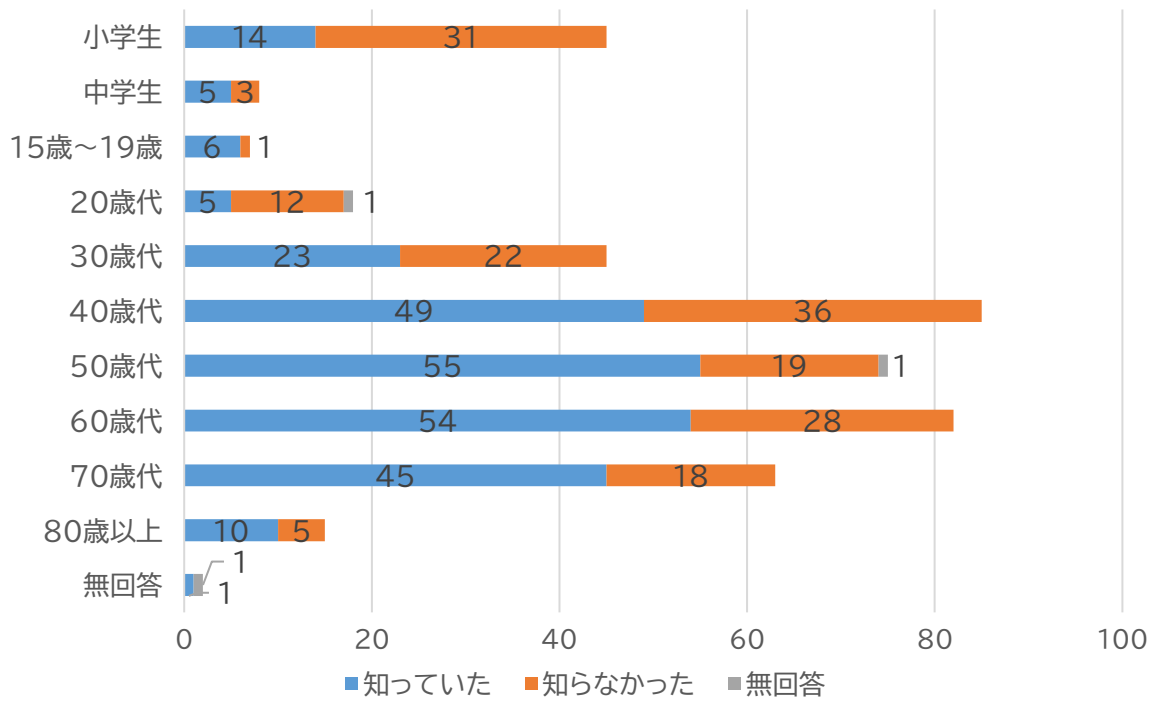
問3 図書館の利用頻度(回答件数:445 件)

ほとんどの年代で、月に数回の利用が最も多い。



問4 図書館に定期的な休館日がなかったことについて(回答件数:445件)

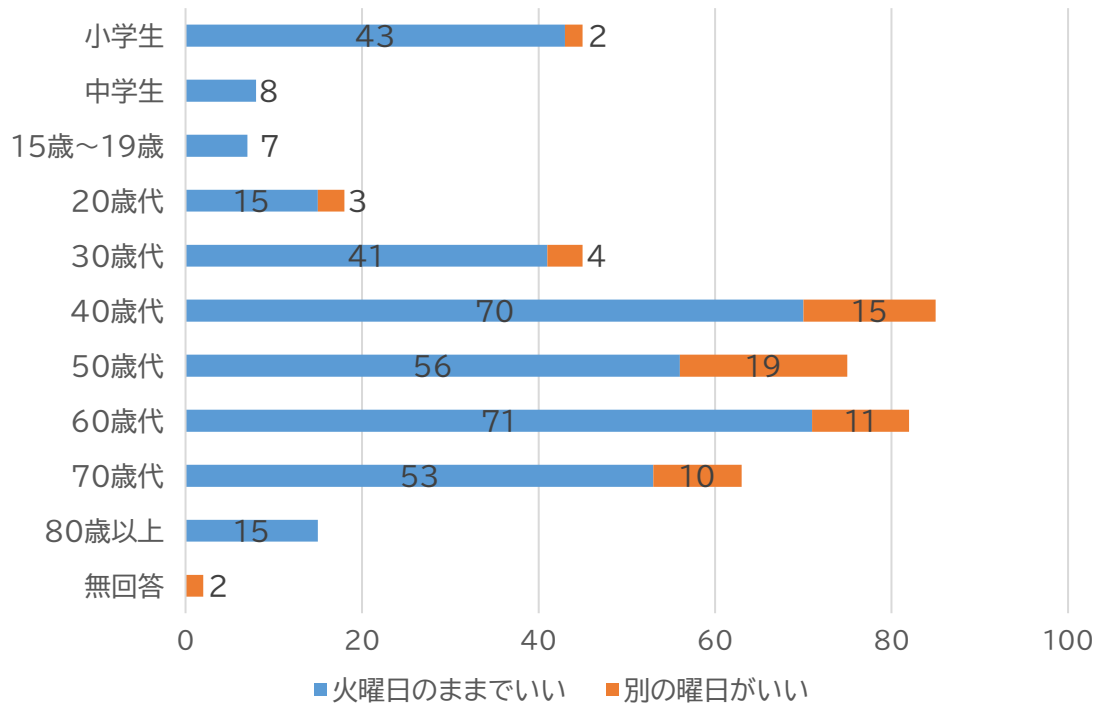
若い年代ほど、定期的な休館日がなかったことを知らない人の割合が高い。



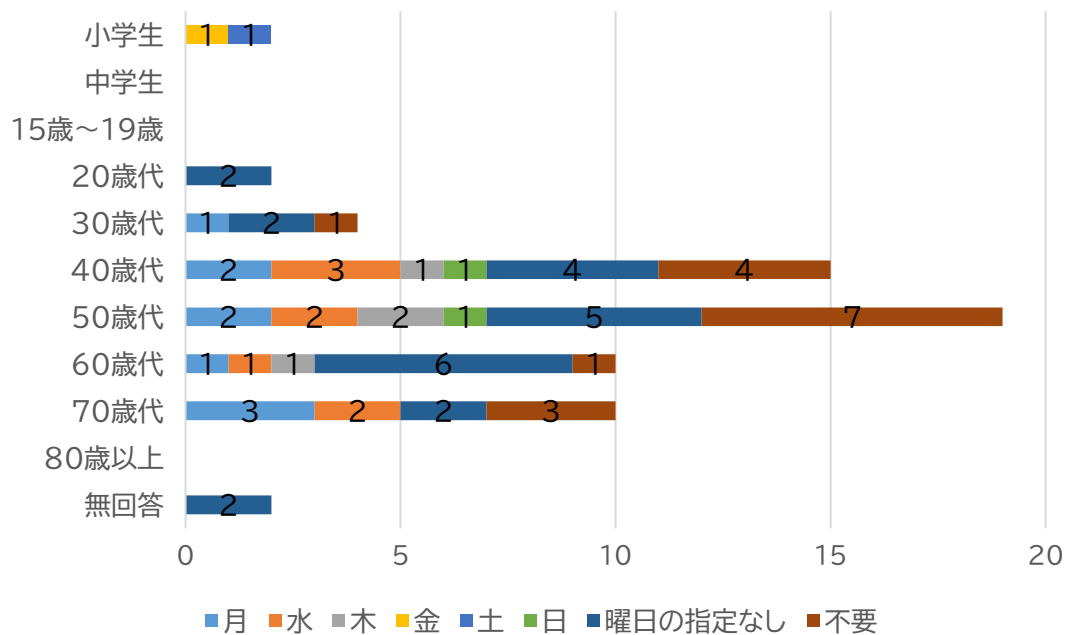
問5 指定休館日の曜日について(回答件数:445 件)

(1) 本館(火曜日)について

年代が上がると「別の曜日がいい」とする回答が増えている。



「別の曜日がいい(64件)」の内訳



※別の曜日がいい理由について(記述式)

小学生

- ・金曜日 金曜日にここ来ないから
- ・土曜日 休みだから

20 歳代

- ・火曜日にしか来られない方のために、時々、曜日をずらしてもよいのでは
- ・他の施設の休館日と重なるため

30歳代

- ・月曜日 南郷や八戸駅と合わせてほしい
- ・はっちもブックセンターも美術館も火曜日なのはなぜでしょうか、逆に理由が知りたいです。合わせる必要がないと思います。施設ごとにバラバラではダメなのではないでしょうか？

40 歳代

- ・月曜日 統一された方が分かりやすい
- ・水曜日
 - ・月曜日はYSアリーナが、火曜日ははっちが休みのため、勉強したりゆっくりできる施設がない。
 - ・他の公共施設（はっち、美術館など）と一緒にない方がよい。
 - ・仕事で休暇の人が少ないため。
- ・木曜日 火曜はこどもはっちの休館日でこどもと一緒にいく所がない
- ・日曜日 働いている人も休んだ方がよい
- ・はっちや美術館など他の市の施設と休日を揃えられると、勉強などのために机を使いたい時に場所がなくなる。
- ・ブックセンターが休みの日とずらしてほしい。
- ・ランダム（仕事が火曜休みだから）

50 歳代

- ・月曜日
 - ・3館一緒の方が分かりやすいから。
 - ・火曜日が来やすかったので。
- ・水曜日
 - ・美術館、はっち、体育館 行く所がない。
 - ・火曜日に公民館に来るので、返すのに便利なため。
- ・定休日にされると日や火が仕事休日の人が困るので、第1・2が火、第3・4が木などバラけて欲しい

60 歳代

- ・月曜日 3館一緒の方が分かりやすいから
- ・木曜日 はっち、YSアリーナなどの休館日と重なると、行く所がなくなるため
- ・火曜日以外ならどの曜日でもいい。火曜日が利用しやすい日だから
- ・公共施設の休みが被っているため
- ・隔週にしてほしい

70 歳代

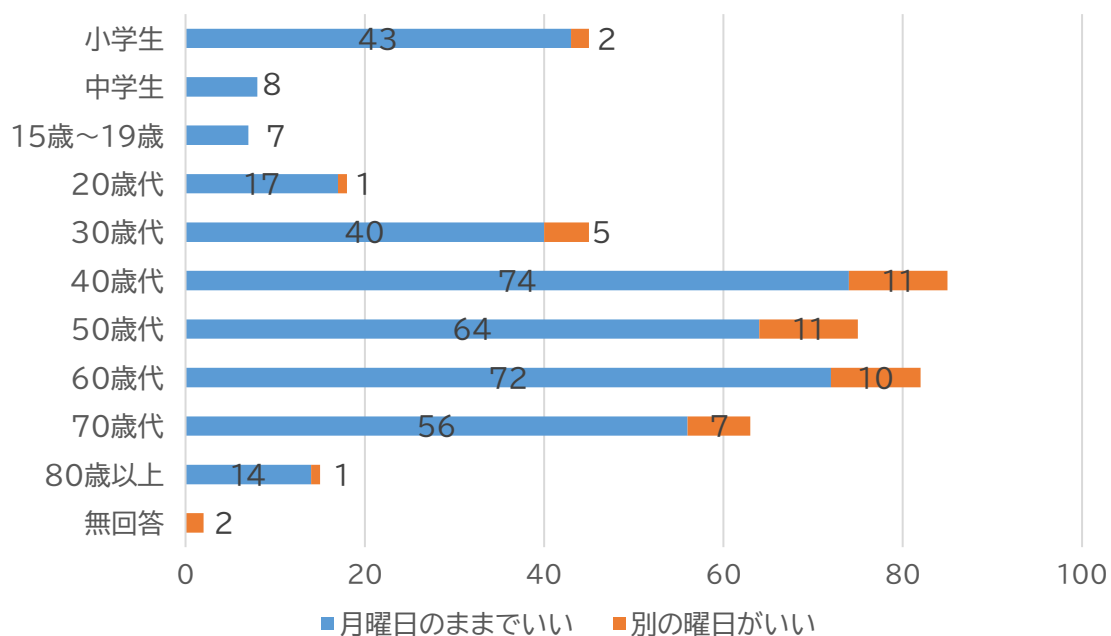
- ・月曜日
 - ・火曜日通院が多くそのときに利用することが多いため。
 - ・週の初めだから。
- ・水曜日
 - ・他の用事とのかね合いで。
 - ・病院が午後休みなので来やすくなる。

無回答

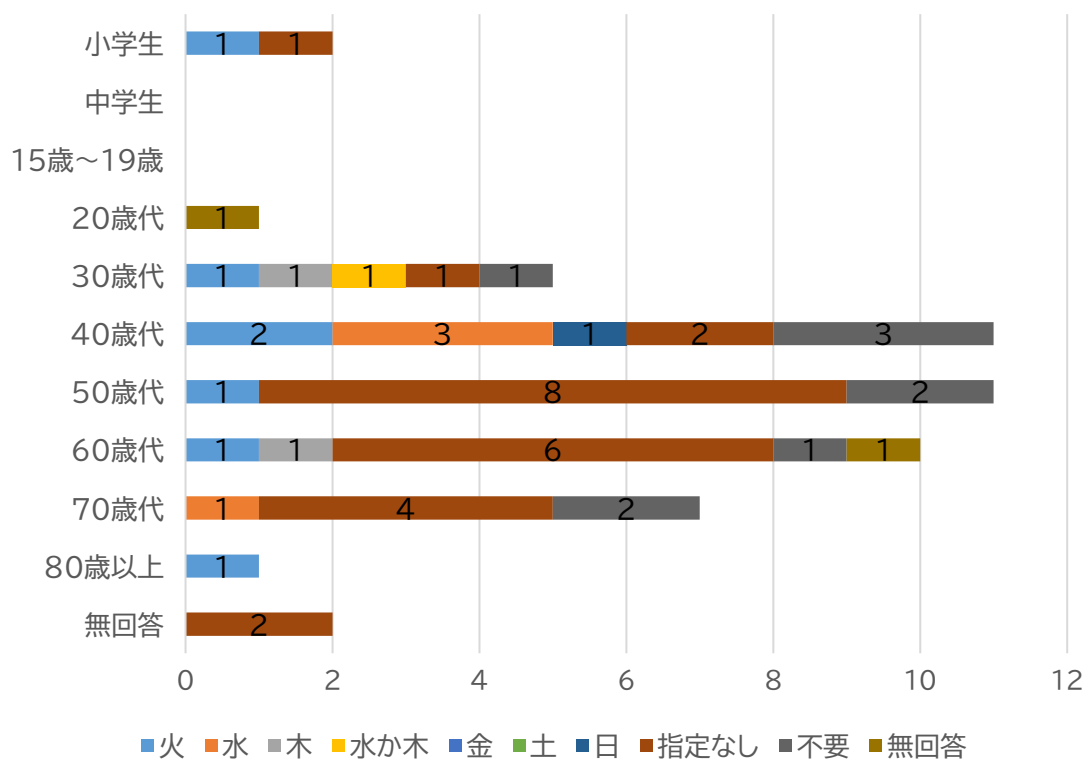
- ・はっちとかぶるから

(2) 分館(月曜日)について

本館同様、年代が上がると「別の曜日がいい」と回答する割合が増える。また、「分館は利用しないのでわからない、どちらでも良い」という回答が複数あった。



「別の曜日がいい(48件)」の内訳



※別の曜日がいい理由について(記述式)

小学生

- ・火曜日 本館と一緒に一気に借りたいから
- ・ひま！

30歳代

- ・火曜日 月曜が休みを取りやすく、その日によく利用しているため
- ・木曜日 月曜日は子どもの振休が多く利用したい時がある
- ・水曜日か木曜日 病院と同じ。だが本館とかぶっていないからまだ良い

40歳代

- ・火曜日 仕事で休暇の人が少ないため
- ・水曜日
 - ・月曜日は県立図書館のオンライン貸出図書を受け取りに行くのでさけてほしい
 - ・月曜休みの職が多い
 - ・月曜日休みの施設が多いため、ずらして欲しい
- ・日曜日 働いている人も休んだ方が良い
- ・本館と同じほうが良い
- ・利用しないのでわからない
- ・ランダム (利用していない)

50歳代

- ・月曜は学校の代休になることがあり、その日に利用したいと思っても利用できないため
- ・本館と同じほうが良い
- ・本館と別館は別の休みが良いと思う
- ・利用しないのでわからない

60歳代

- ・木曜日 はっち、YS アリーナなどの休館日と重なると、行く所がなくなるため
- ・本館と同じほうが良い
- ・月曜日は仕事が休みの方もけっこういらっしゃるのでは？
- ・私が月曜休みなので
- ・月曜が祝日の場合火曜が休みになって、本館と休みが被るから
- ・本館と同じほうが良い

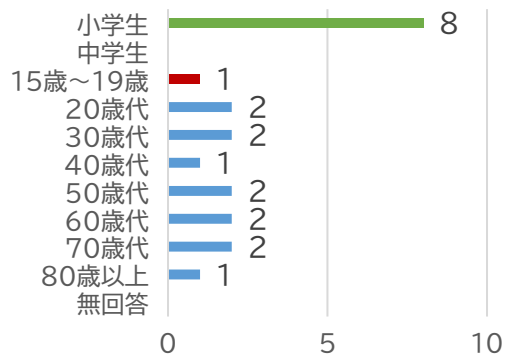
70歳代

- ・水曜日 他の用事とのかね合いで
- ・分館は利用しないため、どちらでも良い

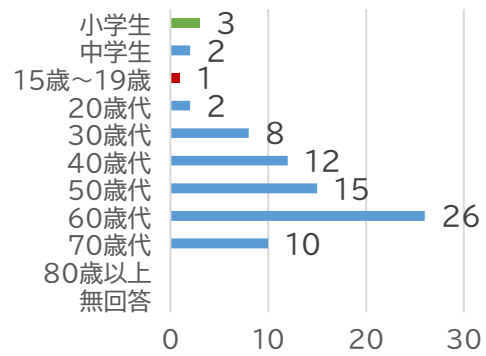
問 6 指定休館日が増えた影響(複数回答可)

全年代で、「特に影響はない」が最も多かった。具体的な影響としては、多くの年代で「普段利用する館を利用する機会が減った」が多かった一方、小学生は「普段利用する館以外の利用機会が増えた」、「読む冊数が減った」が全年代を通して多かった。

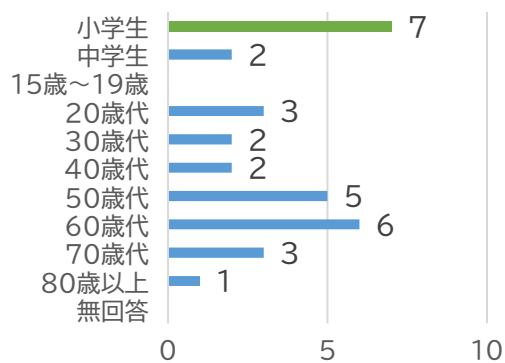
● 普段利用する館以外の利用機会が増えた(21件)



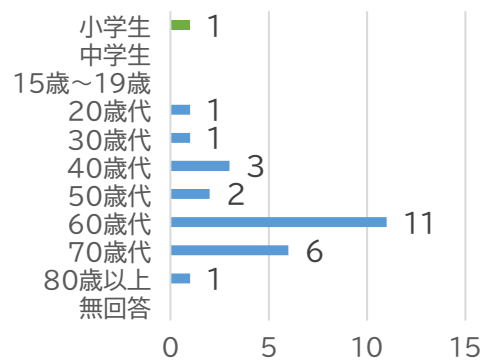
● 普段利用する館を利用する機会が減った(79件)



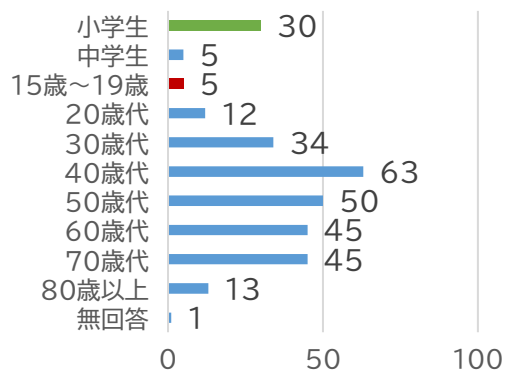
● 読む冊数が減った(31件)



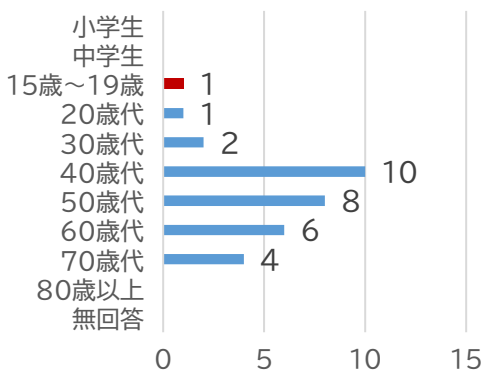
● 新聞を読めない日があった(26件)



● 特に影響はない(303件)



● その他(32件)



※「その他」について(記述式)

15～19 歳

- ・ 図書館を使った勉強ができない日があった

20歳代

- ・ 利用日が休みかどうか気にしなないといけなくなった

30歳代

- ・ 行き辛くなった
- ・ 2番目に利用している館の利用機会が減った

40歳代

- ・ 自分の休みと休館が重なる事が増えて利用しにくくなった
- ・ 月曜日に県立図書館のオンライン貸出図書を受け取りができなくなった
- ・ はっちや美術館など他の市の施設と休日を揃えられると、勉強などのために机を使いたい時に場所がなくなる
- ・ 他の施設も同じく休みのため、涼みどころとして活用できなくなった
- ・ 火曜日でも暑い日はある
- ・ 田舎なので終日気軽に過ごす場所が他にないことと、これまで指定休館日がなくともコロナや冷房工事、10月に長い休館がある等、利用制限が多々あるので指定休館日を設けることに快く思わない
- ・ 夏の暑い時期は開館した方がよかったのでは？涼みどころとして
- ・ 本を返す日が短くなった

50歳代

- ・ むしろ、今まで定期休館日がなかったのが不思議
- ・ 学校でいじめられる子供の逃げ場所がなくなった
- ・ 休館日が多すぎる
- ・ 知らないで行くと休館ということがあった
- ・ 子どもが高校生で、テスト週間に利用できない日があるのは少々不便
- ・ 働く人にとっては休みが多い方がいいだろうけど利用者にとれば不便だ
- ・ 行ったら閉まっているというロスがなくなり便利
- ・ 利用したい時に利用できなくなる

60歳代

- ・ 家以外の居場所がなくなる
- ・ 利用する機会がない
- ・ 不便
- ・ 図書館の利用目的が単に本を借りるだけではない人も多い。情報収集、新聞閲覧、休憩、涼みどころとして利用など
- ・ 休館で利用できなくなった

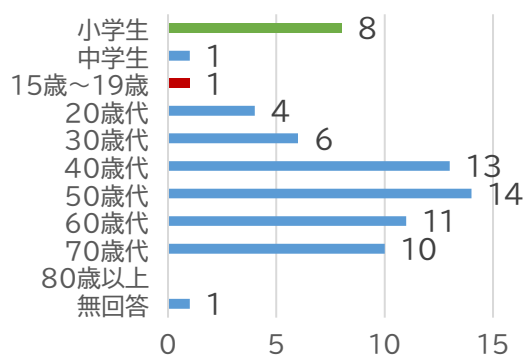
70歳代

- ・ 集会室を利用できる日が少なくなった
- ・ 休館日を知らずに来館したことが何回かあった。慣れればいいのか？

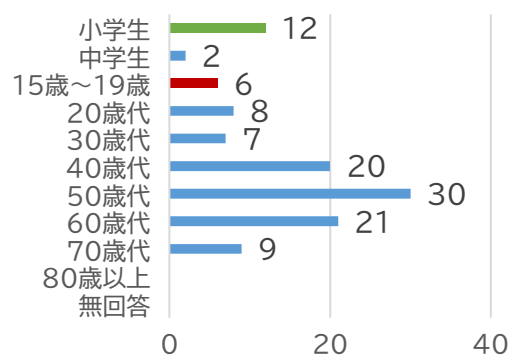
問 7 図書館サービスとして期待すること(複数回答可)

どの年代でも、開館時間の延長を望む声が多い。小学生は「書架の整とん」「イベントの実施」が他の年代と比べても多く、年代が上がるとうWEB予約の要望が多くなった。

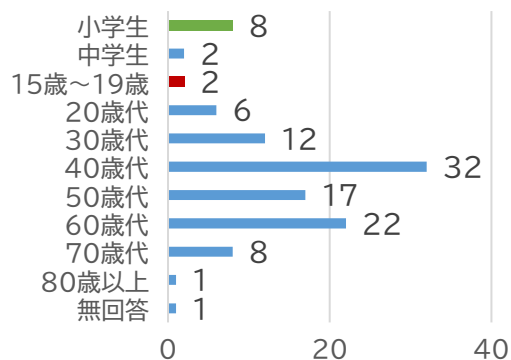
●もっと朝早くから開館してほしい(69件)



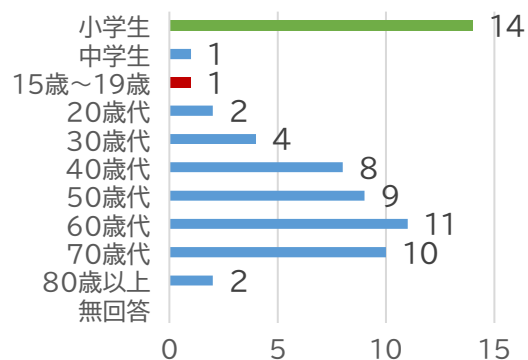
●もっと夜遅くまで開館してほしい(115件)



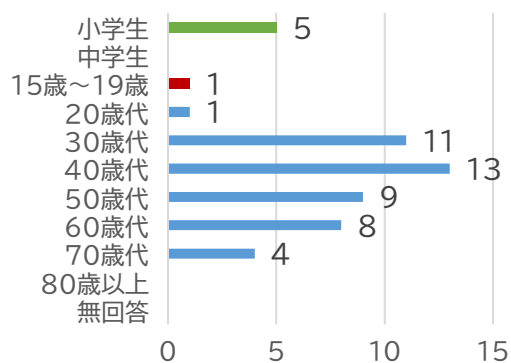
●貸出しされていない本も、Web予約できるようにしてほしい(111件)



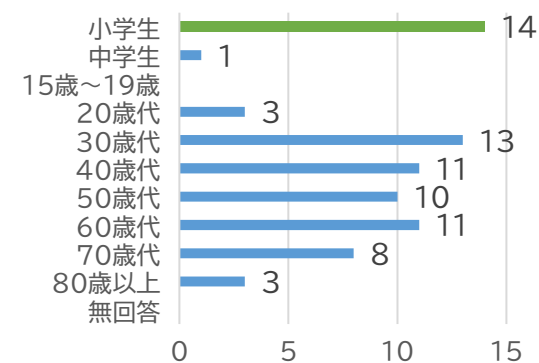
●書架の整とん(本が探しやすくなる)(62件)



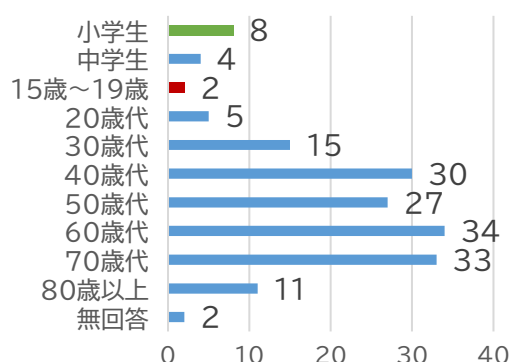
●電子図書館の導入(52件)



●イベントの実施(74件)



●その他(171件)



※「その他」の主な内容について(記述式)

小学生(6件)

- ・「おはなし」が楽しかった

中学生(3件)

- ・本のある場所をもっとわかりやすくしたほうがよい
- ・朝活図書館を増やしてほしい。週に1回くらいだけでも。
- ・希望の本をアンケートとかとったりして、図書館にないものもとってほしい

15歳~19歳(2件)

- ・特に土日の開館時間を遅くまでにしてほしい
- ・新しい本のリクエストをできるようにしてほしい

20歳代(7件)

- ・土、日、祝日の開館時間の延長(平日と同じに)
- ・カテゴリ・ジャンルごとの検索機能の追加。それにより、その日の気分で読みたい本を探せるので、ふらっと立ち寄りやすい。
- ・貸出中の書籍を電子図書館で読めるようにしてほしい
- ・イベントを増やしてほしい
- ・入口すぐの特集展示のような企画をいつも楽しみにしているので、継続できれば増やしていただくととても嬉しいです
- ・かばん置きがほしい。カフェとかにあるようなもの。
- ・学生時代はちょこちょこ使っていました

30歳代(14件)

- ・休館日に、予約している本の受け取りだけでも出来るととても助かります
- ・返却日の前日までに本を返すようにしているので貸出日数を1日延ばしてほしい
- ・これ以上イベントを増やさないでほしい
- ・絵本講習会
- ・エアコン直撃する席は寒くてつらい
- ・2階のロッカーをよく使用するのですが、現時点で半分ほど使用できない上に、鍵が故障しやすいなど利用するのに支障があります。改善を希望します。
- ・学習スペースが欲しい。またはもっと広くしてほしい。
- ・子供エリアがあると嬉しい。洋野町の図書館のように、子供たちが多少、声を出して本を読んでもよいように、エリアが区切っていると、大人も子供も気持ち良く利用できると思う。

- ・PCを持ち込んで利用することができるのでしょうか？できるなら、HPなどに記載されているのでしょうか。
- ・幼児も本に触れ合えるようなスペースを作って欲しい。キッズスペースのような囲いがあり、多少会話したり読み聞かせたりしても他の利用者の邪魔にならない端の辺りに。

40 歳代(33 件)

- ・指定休館日を導入しても、2階の学習スペースは開けて欲しい
- ・職員さんの負担が増えるのは心苦しいので、開館時間は今のままで良い
- ・そんなに長く開館しなくても良いのではないかと思う
- ・DVDなどの視聴覚メディアを他の館でも貸出・返却できるようにしてほしい
- ・返す場所を増やしてほしい
- ・現在貸出中の本の延長を Web でできるようにしてほしい
- ・本の充実
- ・新しい絵本をどんどん入れてほしい
- ・「本のまち」をうたっているにも関わらず話題の本すらない。特にビジネス経済系の本が圧倒的に少ないので増書してほしい。
- ・エッセイ本とか小説とか増やしてほしい。
- ・ぬいぐるみのお泊り会を増やしてほしい
- ・音楽をかけるのはとても良いのですが、ボリュームが少し大きいと思うので、もう少し控え目な方が読書や勉強には良い
- ・本好きの子ども以外でも来やすいようなイベントが増えるとママ友にも図書館を薦めやすい。若いお母さんは特に本を読まない人が増えているので。
- ・車イス駐車場 2 台分もいないのでは。2 台停まっているのを見たことがない。もっと入り口近くのスペースに停められるようにしたらよいのでは。
- ・駐車場入り口の段差が大きく、車体の底をこすりそうです
- ・長期の休みに合わせてトイレの改修を行ってほしい
- ・エレベーターやスロープの設置、トイレのリフォームと衛生上の向上、使用可能なコインロッカーの設置。
- ・テーマごとのおすすめ本は、いつも好きです♪
- ・館内の清潔感
- ・新聞を読むスペースを広くしてほしい
- ・本館の PC 席を増やしてほしい
- ・子どもと一緒に利用しに来ましたが雑誌を読む時は、一緒にいることができない!!一緒に本を読むことができるように改善してほしいと思いました。
- ・ケータイの充電がしたい（有料でも）
- ・1 人 1 回を守るができない人もいます
- ・満足しています。いつもありがとうございます。
- ・八戸市民になって 5 年経ちますが、図書館の基本情報（場所・時間・駐車場等）の周知が足りないと思います。機会があれば利用したいと思います。
- ・一部の職員の方の私語が多いのが気になる。話をしている、働いていないのでは？働いている人とそうではない人の差が大きい？
- ・いつも利用しています。気持ち良いサービスで基本的には満足です。

50 歳代(32 件)

- ・土・日は遅くまでやってほしい。土曜日だけでもいいので。
- ・夏季は朝早く、土日祝は夜遅くまで開館してほしい
- ・コロナや体調不良で返却が遅くなったので、いちいち期限過ぎてますので…と言わないでほしい。悪いのは十分わかってる…
- ・分館にない本が本館にある場合、分館の方へ回して下さるサービスはあるのでしょうか？よくわかってなくてすみませんが、あると便利だと思って。本

館まで出向くのが大変だと思うので。

- ・ 介護保険は、定期的に更新されるため、最新版を借りられたらありがたい
- ・ CD の数を増やしてほしい
- ・ 漫画コーナーがあったら嬉しいです
- ・ 趣味の本（特にハンドメイド関連）を増やしてほしいです
- ・ 新しい本を増やしてほしい
- ・ いつまでも古い本が多く、利用者の扱いが雑なのが目立つ
- ・ リクエストがなくても、新しい本をもっとたくさん出してほしい
- ・ Web でパスワードを保存できるようにしてほしい
- ・ 本のリサイクルは、本館の裏の秋季開催を希望する
- ・ 建物をもっと大きくきれいに新しくしてほしい
- ・ 読書通帳を導入してほしい
- ・ 一般「Fカ」にあると検索で出るが、館内案内地図にFカがどの辺りにあるのか書かれていないためとても探しづらいです。書籍分類での表記にしてほしい。
- ・ 古本のプレゼント
- ・ クラシックコンサートやおすすめの本ランキング
- ・ 人気の本ランキング掲示板
- ・ 閉架書庫の出入り自由化
- ・ もっと読書スペースを広くしてほしい。窓辺の椅子は、ひとつおきにしか座れない（他人同士は）。でも、親子や友人は隣同士に座るので、椅子の配置は変えないでほしい。
- ・ 十和田図書館のように、自動貸出機があるとよいです
- ・ 読む本は購入する方なのですが、そんな私でも行ってみたいと思える図書館になって欲しい
- ・ そもそも図書館に行ったことがない。50代になって老眼で本離れました。
- ・ 八戸図書館の新聞を読むところがいつもシニアの方がいて読みにくい
- ・ ここは、学校でいじめられた人が毎日でも逃げ込める安全地帯じゃなかったんですか。がっかりしました。

60歳代(41件)

- ・ 本館も午後8時まで開館希望
- ・ 午前8時30分から開館してほしい
- ・ 他市町村図書館との広域連携を目指して、他の図書館から借りた書籍が返却できるようになると更に良い。（借りる時は、その市町村の図書館まで出向く。）
- ・ 本館でもDVDの貸し出しをしてほしい
- ・ 予約の入っている人気本の貸出期間の短縮。たとえば2週間→1週間
- ・ 新刊本は人気で貸出中でした。予約待ちの人が多き時は冊数を増やせませんか？
- ・ CDもWEB予約できるようにしてほしい
- ・ 予約できた本をはっちで受け取れるようにしてほしい
- ・ 本の紹介をしてほしい。手に取って読みたくなるように。
- ・ 歴史全般、自然科学等のDVD、ビデオテープの種類を増巻
- ・ 手芸やあみ物の本が古いままが多い。もう少し、今はやりの本をそろえてほしい。
- ・ マンガ本も置いてほしい
- ・ 図書館のホームページが非常に使いにくい
- ・ 利用者ログインの画面、番号は数字しか入れられないようにしてほしい。また、ログイン情報を記憶して、毎回パスワードの入力だけで済むようにしてほしい。

- ・外のボイラー室？の裏のところは、段差があり、非常に危険だと思います。特に夜は照明も暗いため、足を引っかけてしまうこともあります。
- ・1F・2Fにある障がい者用トイレの改修予定はないのでしょうか？今時、ああいうトイレはないと思うのですが…しかも公共施設において。
- ・本館のトイレが狭く汚い
- ・2Fに高級スピーカー（アメリカ・マッキントッシュ製、1986年発売時180万円）があるので活用してほしい。
- ・カフェがあったらいい。BGMがあってもいい。（静かで読書を心地良くする音楽）
- ・コーヒーを飲みながら本が読めたらうれしいです
- ・1階しか利用しませんが、その他の場所がどうなっていて本を借りる以外にこんな事もできる等の情報をもっと発信して身近に感じたい
- ・本のニオイが気になりましたが、消臭処理等はできませんか？
- ・南郷図書館のように本棚のエンドに座るところがあると良いと思います。わざわざ人が座っている所まで行かなくても、ちょっと座れる所があるといいです。また、窓の方を向いて座る席があるといいです。
- ・お菓子の残りとその人の貸出の用紙が入ったまま。ちゃんと確認しているのでしょうか？
- ・中心街にあるブックセンターとの連携（しているのかもしれないがあまり伝わってこない）
- ・市立書店、民間書店、市内古書店とのタイアップ企画
- ・図書情報センターの新聞(大手紙)を本館並みに開架していただきたい
- ・椅子をもう少しほしい
- ・ボランティアを募集してほしい。本の整頓でも何でも。
- ・私はおいらせ町に住んでいますが、仕事（自営）の関係でよく八戸に行きます。バスの待ち時間の時、図書館でいろいろ読めて助かっています。
- ・図書館についての情報を普段から目に付くようにいろんな媒体を使ってほしい。広報ぐらいでしか目にしない。
- ・電子書籍を読むための操作説明会は土、日にしてほしいです
- ・大変でしょうがいつまでも続けていただきたい

70歳代(29件)

- ・開店時間は今のままでも大丈夫です。いつもありがとうございます。
- ・南郷のDVDを図書情報センターでも借りられたら嬉しい。本と同様に。
- ・他の図書館の蔵書も、相互貸借で借りることが出来ることをもっと市民に周知してください。
- ・高齢になると貸出期間が短いと、図書館へ出かけるのが大変です。貸出期間をもう少し長くしてもらえるといいなあとも思っています。
- ・湊かなえの「告白」大活字本、何でⅠがなくてⅡ、Ⅲがあるの？Ⅰがないと意味ないじゃないか。仕入担当者、教えて下さい！
- ・ビジネス、経済関係の雑誌を増やしてほしい。電子図書館の導入に期待。
- ・検索機能が弱い
- ・Webで郷土資料の検索が出来ればいい
- ・Webで江戸時代の八戸城下地図を見たい
- ・駐車場の車止めの設置
- ・駐車場の台数が少ない
- ・レファレンスの充実。調べたい項目・内容についてインターネットで照会し、その結果の回答をもらえるような仕組みづくり。
- ・本館の雑誌貸出手続き面倒だ（日経BP等）
- ・DVDの視聴を！青森アウガはすばらしい
- ・現在のままでも良いと思います

- ・平成10年代に初めて行きました。どれ程の本があるかゆっくり見て歩いていましたが、だんだん頭痛がしてきて、館内の臭いが気になり、早々に帰りました。今では空調も良くなったと思いますが、そういう訳で図書館に行っていないです。
- ・図書館の皆様はご苦労様です。いつもやさしく対応いただき感謝しています。このままでも良いと思います。
- ・新聞読む人(特に高齢者)が指にツバをつけてページをめくっている。私は、両手の親指、人差し指用の指サック、4個を常に持ち歩いている。

80歳以上(13件)

- ・私は、はっちのガイドしていますが、はっち内に返本できることが出来て嬉しいとお客様の声がありました。
- ・作物の有機栽培に関する講演会を開催してほしい
- ・映画上映は月2回位にしてほしい
- ・私の娘が仕事を辞め(主婦)時間が出来たので、図書館通いを始めたらしいのですが、読めるコーナー(場所)が少なすぎると話していました。
- ・子供の頃より、図書館は宿題をしたり、楽しい場所でした。今でも、図書館は楽しみの一つです。

無回答(2件)

- ・返却を、ラピアにも設置して欲しい

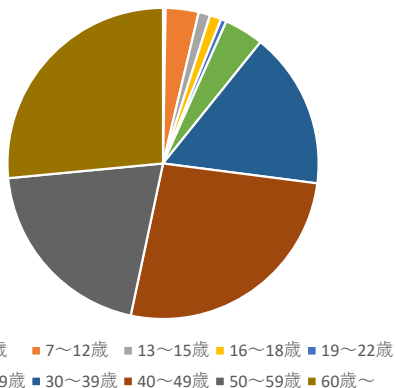
●電子図書館の直近の実績

	11月	12月	1月	計
貸出冊数 (冊)	908	527	813	2,248
階層別				
0～6歳	2	0	4	6
7～12歳	3	19	55	77
13～15歳	17	7	3	27
16～18歳	12	3	12	27
19～22歳	6	0	7	13
23～29歳	32	36	24	92
30～39歳	130	65	171	366
40～49歳	260	125	206	591
50～59歳	197	113	143	453
60歳～	249	159	188	596
予約件数 (件)	445	245	456	1,146
雑誌閲覧件数 (件)	411	249	404	1,064

●本館の直近3ヶ月の実績 (昨年度比較)

	R 6 年度				R 7 年度				前年度比			
	11月	12月	1月	計	11月	12月	1月	計	11月	12月	1月	計
開館日数 (日)	27	26	25	78	27	26	25	78	0	0	0	0
入館者数 (人)	23,102	19,032	20,533	62,667	22,262	19,041	20,140	61,443	-840	9	-393	-1,224
新規登録者数 (人)	245	116	167	528	177	114	168	459	-68	-2	1	-69
個人貸出利用者数 (人)	11,564	9,746	10,103	31,413	11,225	10,012	10,316	31,553	-339	266	213	140
階層別												
0～6歳	380	304	324	1,008	305	286	290	881	-75	-18	-34	-127
7～12歳	927	655	634	2,216	777	661	634	2,072	-150	6	0	-144
13～15歳	143	86	107	336	133	105	127	365	-10	19	20	29
16～18歳	88	70	88	246	98	112	114	324	10	42	26	78
19～22歳	64	64	65	193	66	49	58	173	2	-15	-7	-20
23～29歳	244	221	254	719	263	233	228	724	19	12	-26	5
30～39歳	1,100	900	939	2,939	1,065	912	942	2,919	-35	12	3	-20
40～49歳	1,670	1,393	1,390	4,453	1,773	1,555	1,575	4,903	103	162	185	450
50～59歳	1,625	1,357	1,420	4,402	1,633	1,341	1,464	4,438	8	-16	44	36
60歳～	5,323	4,696	4,882	14,901	5,112	4,758	4,884	14,754	-211	62	2	-147
個人貸出冊数 (冊)	50,187	46,616	44,447	141,250	47,783	45,430	43,498	136,711	-2,404	-1,186	-949	-4,539
利用者1人あたり貸出冊数 (冊)	4.34	4.78	4.40	13.52	4.26	4.54	4.22	13.02	-0.08	-0.24	-0.18	-0.50

電子図書館の階層別貸出冊数



本館の階層別貸出利用者数 (R7年度)

